

教育長報告

- 1 令和8年度のスタートにあたって
- 2 令和8年度小・中学校入学式の挙行について (4/8)
- 3 令和8年度埼玉県都市教育長協議会総会について (4/10 さいたま市)
- 4 令和8年度第1回埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会について
(4/21 さいたま市)
- 5 令和8年度第1回西部教育事務所管内市町村教育長会議について
(4/23 東松山市)

3 事業等報告 (令和8年4月)

① 主要行事予定について	(別紙資料1)
② 令和8年度学校教育に関する各種委員会委員の委嘱について	(別紙資料2)
③ 令和8・9年度入間市教育委員会研究委嘱校について	(別紙資料3)
④ 令和8年度児童・生徒数・学級数一覧表(4月1日現在)について	(別紙資料4)
⑤ 令和7年度入間市社会教育委員会議協議事項の結果について	(別紙資料5)
⑥ 令和7年度入間市公民館運営審議会協議事項の結果について	(別紙資料6)
⑦ 令和7年度いるま生涯学習出前講座実施結果報告書について	(別紙資料7)
⑧ 公民館春休み子ども居場所づくり事業の実施結果について	(別紙資料8)
⑨ 令和7年度入間市博物館協議会協議事項の結果について	(別紙資料9)
⑩ 令和8年度博学連携事業(博物館授業)の日程について	(別紙資料10)
⑪ 令和8年度ALITお茶大学の開講について	(別紙資料11)
⑫ 令和7年度入間市図書館協議会協議事項の結果について	(別紙資料12)

令和8年度 主要行事予定表 (5-7月)

5月

月 日	曜 日	時 間	事 業 名	会 場	参 加 対 象	教育委員 出席依頼	担 当 課
5月2日	土	8:45~11:30	八十八夜新茶まつり	市役所	教育長、一般		農業振興課
5月7日・8日	木・金		関東地区都市教育長協議会総会・分科会	ホテルメトロポリタン高崎	教育長		教育総務課
5月11日	月	8:30~16:00	年度当初管理訪問	市内小中学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
5月12日	火	14:00~	入間郡市同和对策協議会総会	川越市名細市民センター	教育長、関係団体		社会教育課
5月14・15日	木・金		第75回全国都市教育長協議会総会・研究大会	高知県立県民文化ホール	教育長		教育総務課
5月19日~24日	火~日	9:00~17:00	市写真連盟展	博物館	一般		社会教育課
5月21日	木	13:30~	埼玉県市町村教育委員会連合会総会	狭山市市民会館	教育長、教育委員	○	教育総務課
5月24日	日	10:00~	入間市子ども会育成会連絡協議会総会	青少年活動センター	市子連		青少年活動センター
5月25日	月	14:00~	第2回西部教育事務所管内教育長会議	日高市	教育長		教育総務課
5月26日	火	9:45~	小中学校PTA家庭教育学級合同開講式	市庁舎 大会議室	PTA担当者		社会教育課
5月27日	水	10:00~	教育委員会定例会(5月)	市庁舎 大会議室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
5月29日	金	PM	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会	上越文化会館	教育長、教育委員	○	教育総務課
5月下旬		10:00~	市文化協会総会	産業文化センター	団体関係		社会教育課

6月

月 日	曜 日	時 間	事 業 名	会 場	参 加 対 象	教育委員 出席依頼	担 当 課
6月1日	月	9:30~	6月市議会定例会 開会	市庁舎 議場			議会事務局
6月4日	木	8:50~	学校指導訪問	向原中学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
6月7日	日	8:00~11:00	第48回市民清掃デー	市内各所	一般		総合クリーンセンター
6月7日	日	10:00~15:00	「狭山茶の日」関連事業	博物館	市長・教育長・一般		農業振興課
6月7日	日	11:00~15:30	狭山茶の日茶会	博物館	市長・教育長・一般		博物館
6月10日	水	8:50~	学校指導訪問	宮寺小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
6月12日	金	8:50~	学校指導訪問	狭山小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
6月14日	日	8:40~16:00	わんぱく相撲入間大会	市民体育館	教育長、教育委員	○	スポーツ推進課
6月22日	月	8:50~	学校指導訪問	新久小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
6月23日	火	8:50~	学校指導訪問	東金子小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
6月24日	水	9:30~	6月市議会定例会 閉会	市庁舎 議場			議会事務局
6月25日	木	19:00~	市青少年健全育成推進協議会総会	産業文化センター	関係団体		青少年課
6月26日	金	10:00~	教育委員会定例会(6月)	市庁舎 第2委員会室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
6月28日	日	13:30~	市民吹奏楽団演奏会	狭山市市民会館	一般		社会教育課
6月29日	月	8:50~	学校指導訪問	東町中学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
6月中		13:00~	市町村教育委員会研究協議会(前期①)	オンライン	教育長、教育委員	○	教育総務課

令和8年度 主要行事予定表（5～7月）

7月

月 日	曜 日	時 間	事 業 名	会 場	参 加 対 象	教育委員 出席依頼	担 当 課
7月3日	金	10:00～	埼玉県都市教育長協議会第1回定例協議会	ウエルス幸手	教育長		教育総務課
7月6日	月	8:50～	学校指導訪問	豊岡小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
7月14日	火	14:00～	第3回西部教育事務所管内教育長会議	越生町	教育長		教育総務課
7月15日	水	13:00～	埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会	埼玉会館	教育委員	○	教育総務課
7月17日～20日	金～月	9:30～17:00	入間書人展	博物館	一般		社会教育課
7月18日	土	14:00～14:30	子ども大学さやま・いるま入学式	東京家政大狭山校舎	教育長、小学4～6年生		社会教育課
7月23日	木	13:00～	総合教育会議	市庁舎 大会議室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
7月23日	木	15:00～	教育委員会定例会(7月)	市庁舎 大会議室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
7月24日	金	13:00～	西部地区人権教育実践報告会	所沢市民文化センター ミュウズ	教育長、関係者、管内の教育長		社会教育課
7月25日	土	6:00～	入間市制施行60周年記念2026年度夏季巡回 ラジオ体操・みんなの体操会	エミパーク彩の森入間	市長、教育長、一般		スポーツ推進課
7月25日～27日	土～月	10:00～15:00	キッズ・アート・ギャラリー	博物館	幼児、小中学生		社会教育課
7月中		未定	地域交流研修会	産業文化センターホール	教育長、教育委員	○	社会教育課

任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

No.	委員氏名	備考	新・再任
1	たなべ 田 邊 あきら 玲	東町中学校校長	新任
2	あべ 阿 部 りょうすけ 亮 介	金子中学校教頭	新任
3	はしもと 橋 本 はなみ 華 美	扇小学校教諭	新任
4	なかやま 中 山 みなと 斗	東町小学校教諭	新任
5	きみづか 君 塚 きよみ 聖 深	武蔵中学校教諭	新任
6	にしざわ 西 澤 しゅん 駿	向原中学校教諭	新任
7	きむら 木 村 あきのぶ 彰 信	東町中学校主幹教諭	新任

設置目的

・生徒のコミュニケーション能力を確実に伸ばし、確かな学力の育成を図るための研究を推進する。

キャリア教育研究委員会

任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

No.	委 員 氏 名	備 考	新・再任
1	もりた 森 田 たくみ 匠	向原中学校校長	再任
2	ひらやま 平 山 ゆうか 悠 翔	西武小学校教諭	新任
3	はしもと 橋 本 やすひろ 康 広	仏子小学校教諭	再任
4	かきぬま 柿 沼 めり 芽 里	新久小学校教諭	新任
5	しみず 清 水 あきこ 晶 子	金子中学校教諭	新任
6	よしだ 吉 田 まさき 政 紀	向原中学校教諭	新任

設置目的

- ・子ども達が自らの力で未来を切り拓くために、学びを実社会に活かす教育の研究推進

学力向上推進委員会

任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

No.	委 員 氏 名	備 考	新・再任
1	かなおか ひろみち 金 岡 広 道	藤沢北小学校校長	再任
2	まるやま しゅう 丸 山 翔	扇小学校主幹教諭	新任
3	さいとう とおる 斉 藤 徹	藤沢東小学校教諭	新任
4	まつもと じゅん 松 本 淳	藤沢北小学校教諭	新任
5	たかはし こうすけ 高 橋 幸 佑	豊岡中学校教諭	新任
6	かみやま かずまさ 神 山 一 誠	黒須中学校教諭	新任

設置目的

- ・児童・生徒一人一人を確実に伸ばし、確かな学力の育成を図るための研究を推進する。

体力向上推進委員会

任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

No.	委 員 氏 名	備 考	新・再任
1	かとう 加 藤 きみあき 公 章	金子小学校校長	再任
2	みやもと 宮 本 こうき 弘 毅	東金子小学校教諭	新任
3	にしざわ 西 澤 りょう 諒	金子小学校教諭	新任
4	さたか 左 高 まい 麻 衣	西武中学校教諭	再任
5	ささき 佐々木 りょうた 諒 太	上藤沢中学校教諭	新任

設置目的

- ・体力向上の推進に係る調査・研究を行い、児童・生徒の体力向上を図る。

人権教育推進委員会

任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

No.	委 員 氏 名	備 考	新・再任
1	まえはた 前 畑 てつや 哲 也	藤沢中学校校長	新任
2	いわはら 岩 原 あやか 綾 香	豊岡小学校教諭	新任
3	あらい 新 井 なるみ 成 美	宮寺小学校教諭	再任
4	こしま 小 嶋 ゆうすけ 佑 介	豊岡中学校教諭	新任
5	ばんない 坂 内 だいすけ 大 介	藤沢中学校教諭	再任

設置目的

- ・授業実践をととして指導資料を作成し、学校における人権教育の推進を図る。

入間市教育センター運営委員会

任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

No.	委員氏名	備考	新・再任
1	ますやま むねたか 増山 宗隆	藤沢小学校校長 校長代表	新任
2	いとう 藤 こうじ 伊藤 浩二	東金子中学校校長 校長代表	新任
3	よこて しんじ 横手 伸次	藤沢南小学校教頭 教頭代表	新任
4	むらの もとひろ 村野 元裕	豊岡小学校教頭 教頭代表	再任
5	かわだ ひろつぐ 河田 寛世	東金子中学校教諭 教務主任代表	新任
6	ななうみ ゆうじ 七海 夕爾	狭山小学校教諭 教諭代表	再任
7	あおき まちこ 青木 真知子	藤沢北小学校養護教諭 養護教諭代表	新任
8	じんぐう とうご 神宮 東護	新久小学校事務主事 学校事務代表	再任

設置目的

- ・教育センターの運営について協議し、入間市教育の今後の発展に寄与する。

入間市博物館学校連携事業研究委員会

任期：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

No.	委員氏名	備考	新・再任
1	おだ 小田 まこと 誠	黒須小学校校長	新任
2	たぶち 田 渕 けんた 健 太	藤沢小学校教諭	新任
3	ひらばやし 平 林 えりか 絵里香	高倉小学校教諭	新任
4	とりうみ 鳥 海 りょう 良	西武中学校教諭	新任

設置目的

- ・学校と博物館の連携を推進することで、地域に根ざした教育の展開を図る。

令和 8 ・ 9 年度研究委嘱校（6 校）

No.	学 校 名	研 究 主 題
1	豊岡小学校	未来に向かって「あい」と「チャレンジ」「リスペクト」 ～進化！新化！！深化！！！！ 算数科を主軸として～
2	東金子小学校	「わからない」を出発点に、学びを深める子どもの育成 ～すべての子どもがつながる授業づくりを通して～
3	宮寺小学校	楽しい授業の追究 学び合いを取り入れて、個別最適な学びを進める授業 ～算数科の指導を通して～
4	西武小学校	互いに関わり合い、互いに認め合う関係づくり
5	扇小学校	問いを生み出し、問いを高める指導
6	新久小学校	一人も独りにせず、だれもが安心して学べる学級を目指して ～互いのよさを認め合える学級活動～

()は特別支援で内数

令和8年度 児童・生徒数・学級数一覧表 (4月1日現在)

	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			第6学年			合 計		
	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	
豊岡小	2	42 (1)	2	60 (2)	2	53 (2)	2	45 (1)	2	57 (1)	2	62 (2)	12	2	319 (9)						
東金子小	2	44 (1)	2	52 (2)	2	52 (3)	2	41 (2)	2	57 (5)	2	42 (3)	12	3	288 (16)						
金子小	2	54 (4)	2	59 (5)	2	51 (4)	2	42 (5)	2	66 (1)	2	54 (3)	12	4	326 (22)						
宮寺小	1	27 (0)	1	25 (2)	1	33 (2)	1	33 (1)	2	42 (1)	1	36 (4)	7	2	196 (10)						
藤沢小	2	44 (2)	2	51 (2)	2	57 (2)	2	58 (2)	2	59 (0)	2	50 (0)	12	2	319 (8)						
狭山小	2	38 (0)	2	47 (1)	2	45 (1)	2	61 (2)	2	57 (3)	2	70 (2)	12	2	318 (9)						
西武小	3	106 (1)	3	101 (0)	3	76 (1)	3	104 (2)	4	115 (4)	3	98 (2)	19	2	600 (10)						
藤沢南小	1	33 (1)	2	47 (2)	2	49 (1)	2	52 (2)	2	57 (5)	3	76 (3)	12	3	314 (14)						
黒須小	2	66 (3)	2	72 (3)	3	74 (2)	2	67 (6)	3	86 (4)	3	86 (2)	15	4	451 (20)						
屑小	3	95 (1)	3	97 (2)	4	116 (2)	3	115 (10)	4	112 (3)	4	138 (4)	21	4	673 (22)						
藤沢東小	2	60 (2)	2	71 (2)	3	83 (3)	2	63 (2)	3	83 (3)	3	93 (0)	15	2	453 (12)						
藤沢北小	3	88 (3)	3	90 (2)	4	132 (6)	4	115 (3)	3	105 (6)	3	100 (5)	20	5	630 (25)						
仏子小	1	30 (5)	2	41 (1)	2	43 (3)	1	25 (1)	2	49 (4)	2	50 (3)	10	3	238 (17)						
新久小	1	28 (2)	1	35 (1)	2	44 (1)	2	41 (2)	2	49 (5)	1	32 (2)	9	2	229 (13)						
東町小	3	78 (1)	3	76 (3)	3	72 (0)	2	72 (3)	3	90 (2)	2	64 (1)	16	2	452 (10)						
高倉小	1	30 (0)	1	37 (2)	1	36 (2)	2	45 (2)	2	41 (1)	1	37 (3)	8	2	226 (10)						
合 計	31	863 (27)	33	961 (32)	38	1,016 (35)	34	979 (46)	40	1,125 (48)	36	1,088 (39)	212	44	6,032 (227)						
豊岡中	3	91 (2)	3	115 (5)	3	92 (3)							9	2	298 (10)						
金子中	2	63 (4)	2	45 (1)	2	54 (6)							6	2	162 (11)						
武蔵中	3	101 (7)	3	92 (5)	3	97 (4)							9	3	290 (16)						
藤沢中	5	182 (7)	5	199 (5)	5	172 (3)							15	3	553 (15)						
西武中	4	129 (1)	4	148 (5)	4	157 (4)							12	2	434 (10)						
向原中	5	155 (5)	4	156 (5)	4	150 (6)							13	2	461 (16)						
黒須中	3	84 (0)	2	70 (2)	3	83 (2)							8	2	237 (4)						
東金子中	3	77 (3)	3	93 (1)	2	70 (1)							8	2	240 (5)						
上藤沢中	3	102 (0)	3	102 (0)	4	123 (0)							10	0	327 (0)						
東町中	2	68 (0)	2	62 (0)	2	62 (0)							6	0	192 (0)						
合 計	33	1,052 (29)	31	1,082 (29)	32	1,060 (29)							96	18	3,194 (87)						
小・中 合計																308	62	9,226 (314)			

令和7年度入間市社会教育委員会協議事項について 「次期社会教育関係4計画の策定について」

令和8年4月教育委員会定例会

担当：社会教育課

令和7年度の入間市社会教育委員会協議においては、次期社会教育関係4計画（生涯学習推進計画、公民館基本計画、博物館基本計画、図書館基本計画 いずれも令和9～13年度）策定にあたり、公民館アンケートの実施、次期計画の整理、素案（案）についての協議を行いました。

以下、令和7年度入間市社会教育委員会協議会での協議事項について報告します。

【令和7・8年度の主要議題】

- ・次期社会教育関係4計画の策定について

【会議日程と協議事項の概要】

委嘱状交付式及び第1回会議 令和7年7月2日開催（委員14名出席）

協議事項：次期社会教育関係4計画の策定について

各計画の策定スケジュールについての協議を行った。また、各計画の目指す方向性について、これからの社会ニーズに応じたものか、その目標が適切かどうかについて協議を行った。

第2回会議 令和7年10月2日開催（委員10名出席）

協議事項：次期社会教育関係3計画の策定について ※生涯学習推進計画を除く

各現行計画の評価と課題を整理し、次期計画の骨子についての整理を行った。また、各計画の目指すべきゴールとなる「基本方針」及び「施策の展開」の方向性について協議を行った。

第3回会議 令和7年12月24日開催（委員10名出席）

協議事項：次期社会教育関係4計画の策定について ※生涯学習推進計画をメインとして

現行の生涯学習推進計画の評価と課題を整理し、次期計画の骨子についての整理を行った。また、目指すべきゴールとなる「基本方針」及び「施策の展開」の方向性について協議を行った。

併せて、4計画の策定にあたって実施したアンケート結果をもとに、各計画への反映を確認するとともに、各計画が連動し整合性のとれたものとなっているかについて協議を行った。

第4回会議 令和8年3月11日開催（委員12名出席）

協議事項：次期社会教育関係4計画の策定について

次期各計画の素案（案）の構成や記載内容についての協議を行った。また、各計画の目指す方向性や施策展開が適切なものとなっているか、各計画の整合性について協議を行った。

【参考】入間市社会教育委員会協議

社会教育法第29条及び17条、並びに入間市社会教育委員設置条例に基づき設置。定時又は臨時に会議を開催し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる。令和7・8年度委員15名。

令和7年度入間市公民館運営審議会協議事項について 「次期公民館基本計画の策定について」

令和8年4月教育委員会定例会

担当：社会教育課

令和7年度の公民館運営審議会においては、第3次公民館基本計画（令和9～13年度）策定にあたり、公民館アンケートの調整や次期計画の整理、素案（案）についての協議を行いました。

以下、令和7年度入間市公民館運営審議会での協議事項について報告します。

【令和7・8年度の主要議題】

- ・第3次入間市公民館基本計画について
- ・地域学校協働活動と公民館が果たすべき役割について

（会議日程と協議事項の概要）

委嘱状交付式及び第1回会議 令和7年7月16日開催（委員10名出席）

協議事項①：次期公民館基本計画について

次期計画の策定スケジュールについての協議を行った。また、市民意識を反映すべく公民館アンケートの設問や構成について協議を行った。

協議事項②：地域学校協働活動～公民館の地域学校協働本部としての役割～について

令和5～6年度の公民館運営審議会において協議や研究を重ねてきた公民館の地域学校協働本部としての役割について、令和7年度事業の方向性を踏まえ協議を行った。

第2回会議 令和7年12月19日開催（委員8名出席）

協議事項：次期公民館基本計画について

公民館アンケート結果をもとに、次期計画の骨子についての整理を行った。また、次期計画が目指すべきゴールとなる「基本方針」及び「施策の展開」の方向性について協議を行った。

第3回会議 令和8年3月18日開催（委員8名出席）

協議事項：次期公民館基本計画について

次期計画の素案（案）として、計画の構成や記載内容についての協議を行った。また、次期計画の施策展開を行う上で必要な視点について協議を行った。

【参考】入間市公民館運営審議会

社会教育法第29条、入間市公民館設置及び管理条例第5条に基づき設置。館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する。令和7・8年度委員10名。

令和7年度
いるま生涯学習出前講座
実施結果報告書



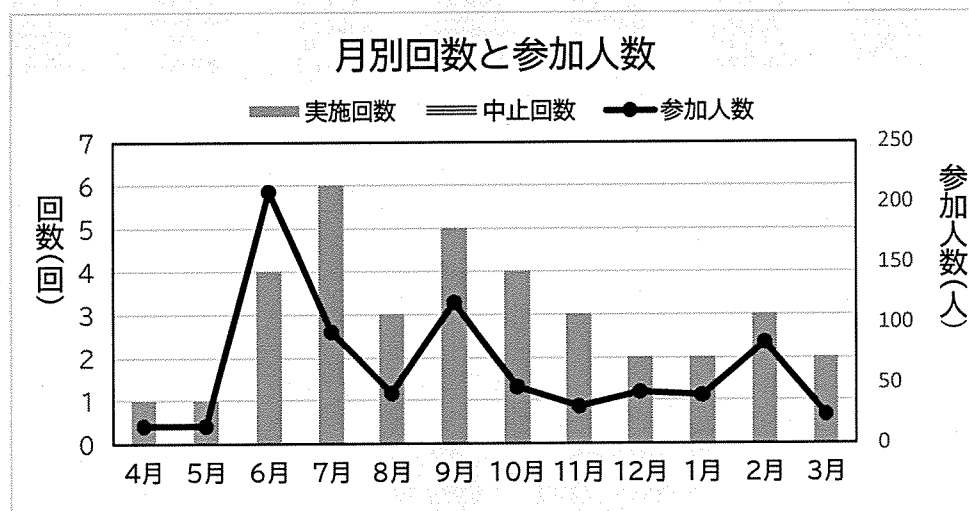
担当：入間市教育委員会 社会教育課

はじめに

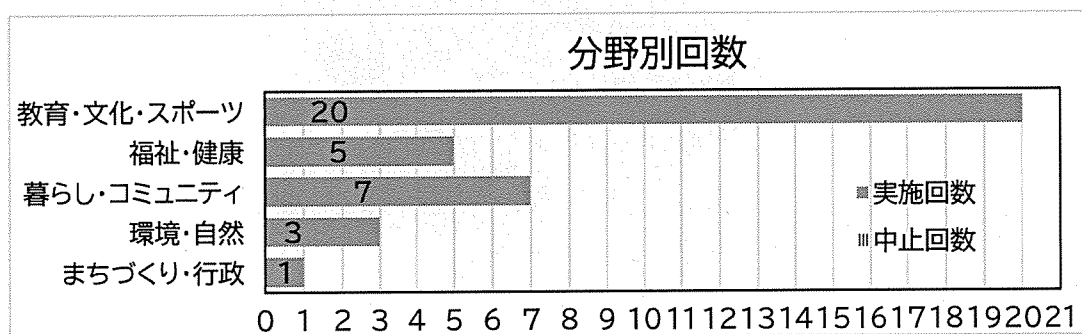
「いるま生涯学習出前講座」は、生涯学習推進事業の一環として平成11年度に始まり、令和7年度で27年目となりました。その間、多くの市民に利用され、入間市の生涯学習の進展に寄与しています。今年度は、延べ36講座の利用申込みがあり、延べ780人の市民に受講いただきました。関係各位のご協力に厚く御礼申し上げます。

1 各月の実施回数と参加人数

4月、5月は年度当初ということで実施は少ないですが、各月ごとに複数回開催することができました。



2 講座数

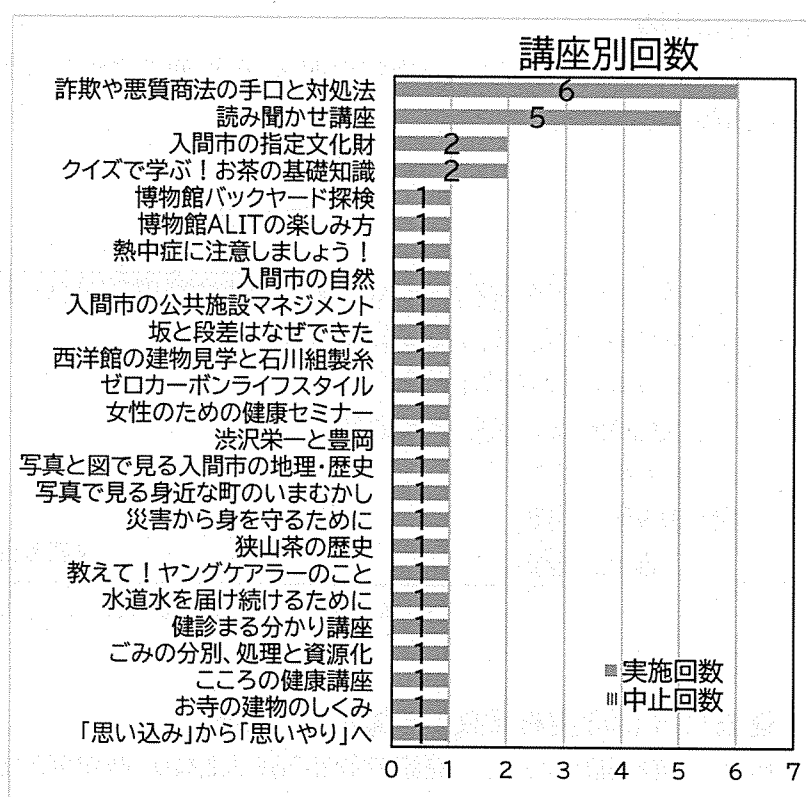


出前講座全メニュー65講座のうち、今年度申し込みがあったのは25講座でした。分野別では、例年同様「教育・文化・スポーツ」分野が最も多く実施されました。

講座別に見ると、最も多く実施されたのは「詐欺や悪質商法の手口と対処法」でした。昨年度の実施数から大幅に増加しており、社会問題化している特殊詐欺などの被害を防ぐため、防犯意識や自己防衛の知識を高めようとする動きが活発になっていることが伺えます。

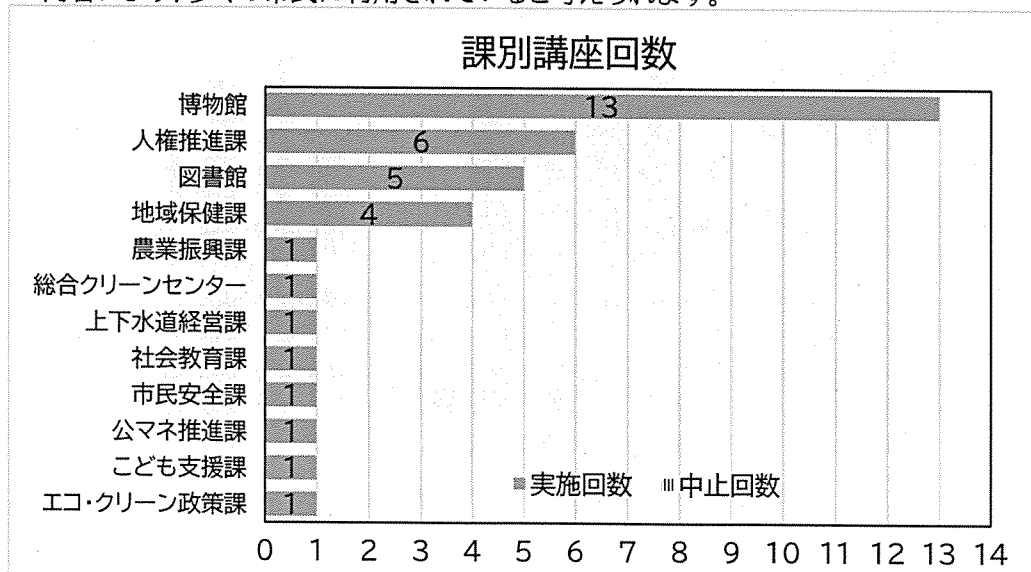
次いで実施の多かった「読み聞かせ講座」は、昨年度に引き続き多くの方に受講され、子育て世代にとって

の教育的かつ楽しい体験の場として定着していることがわかります。さらに、「クイズで学ぶ！お茶の基礎知識」や「入間市の指定文化財」といった入間市の歴史や魅力に触れる講座も複数実施されており、地域の文化に対する市民の皆様の学習意欲の高さも見受けられました。



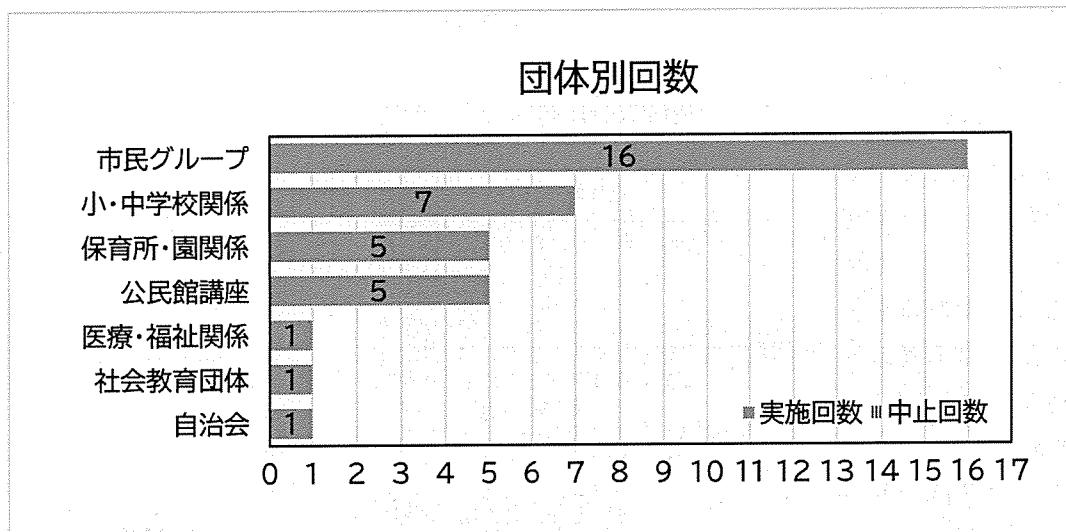
3 担当課別講座回数

昨年度に引き続き、博物館が担当する講座が最も多く利用されました。博物館では、地理や文化財、お茶等幅広い分野で12のメニューを展開しており、多様なテーマ設定や親しみやすい内容により、多くの市民に利用されていると考えられます。



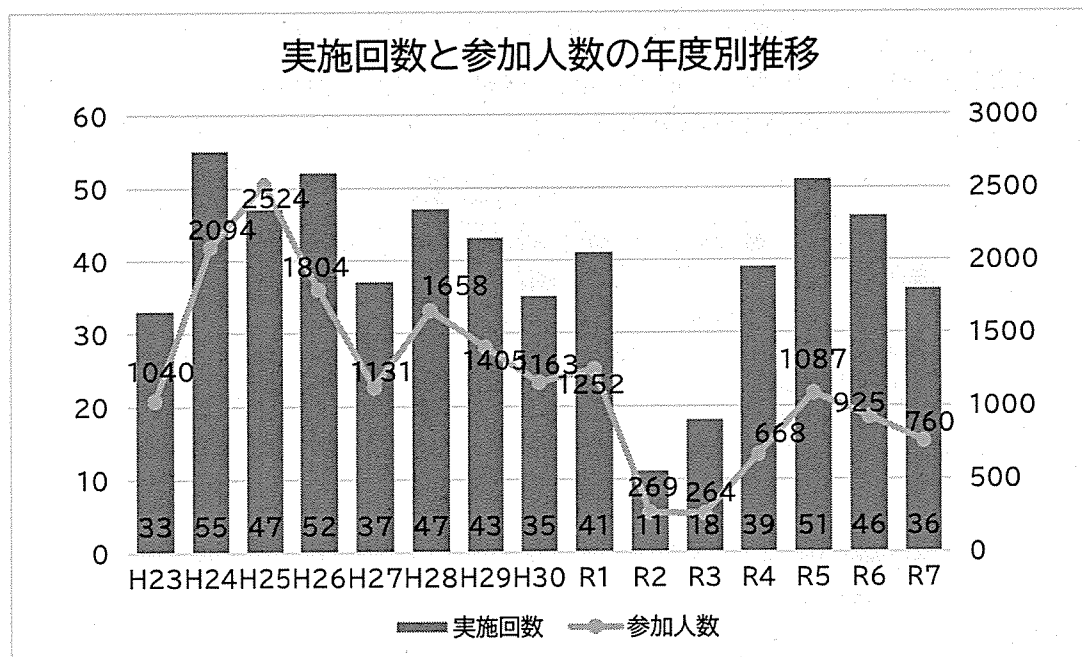
4 団体別回数

市民グループの勉強会や、小・中学校関係、公民館の生涯学習大学のメニューとして多くの利用がありました。



5 過去15年間の実施回数と参加人数の推移

今年度の実施回数は36回、受講者数は760人となり、昨年度と比較して減少する結果となりました。コロナ禍前の水準と比較しても、依然として実施回数・参加人数ともに及んでいません。この要因として、昨年度に引き続き、少人数のグループで実施する傾向が定着していることが挙げられます。今年度の講座実施回数36回のうち、20人未満の参加者数だった講座が24回と全体の約7割を占めた一方で、30人以上の参加者があった講座はわずか4回でした。高齢化等により市民グループなどの参加人数が減少傾向にあることに加え、今年度は実施回数自体が減少したことが、全体の受講者数減少に影響していると考えられます。



6 今後に向けて

出前講座の実施回数および参加人数は減少傾向にあり、少人数グループでの利用が定着しつつあります。一方で、今年度は「詐欺や悪質商法の手口と対処法」への申し込みが急増するなど、市民が抱えるタイムリーな課題や関心事に、本事業が応えられている状況もうかがえます。

今後は、出前講座のマンネリ化を防ぐとともに、社会情勢の変化や市民ニーズに迅速に対応できるよう、新規講座の開設や内容の充実など適宜改善を図ります。また、気軽に利用できる制度であることを広く周知するため、SNS 等を活用した情報発信をさらに強化し、新規受講者層や小規模グループの開拓を目指します。

上記のような出前講座を取り巻く環境やニーズの変化に柔軟に対応し、生涯学習によるまちづくりの一翼をこの出前講座が引き続き担っていけるよう努めてまいります。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
DIVISION OF THE PHYSICAL SCIENCES
DEPARTMENT OF CHEMISTRY

公民館 春休み子ども居場所づくり事業結果表（令和8年3月27日～4月7日）

公民館名	実施 日数	主な 実施時間帯	来館者人数 (延べ)	1日平均 来館者数	主な会場	事業の周知方法	主な来館者	来館者の 主な活動内容
扇町屋公民館	12	☐ 午前 ☐ 午後 ☒ 午前・午後	16	1.33	洋室A 洋室B 和室A 大会議室	地区センターだより	☒ 小学校低学年 ☒ 小学校高学年 ☒ 中学生 ☐ 高校生	遊び 勉強
久保稲荷分館	0	☐ 午前 ☐ 午後 ☐ 午前・午後	0	0.00	-		☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	
黒須公民館	3	☐ 午前 ☒ 午後 ☐ 午前・午後	16	5.33	中会議室	地区センターだより	☒ 小学校低学年 ☒ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	自習 読書等
高倉分館	3	☐ 午前 ☒ 午後 ☐ 午前・午後	0	0.00	洋室A	地区センターだより	☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	-
東町公民館	8	☐ 午前 ☐ 午後 ☒ 午前・午後	0	0.00	工作室	地区センターだより 館内ポスター掲示 東町小、藤沢小ハチラン配布	☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	-
東金子公民館	5	☐ 午前 ☐ 午後 ☒ 午前・午後	5	1.00	図書室	館内ポスター掲示	☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☒ 中学生 ☒ 高校生	勉強 宿題
金子公民館	12	☐ 午前 ☐ 午後 ☒ 午前・午後	78	6.50	工作室	館内ポスター掲示	☒ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	自習 読書等
宮寺公民館	12	☐ 午前 ☐ 午後 ☒ 午前・午後	60	5.00	大会議室 図書室	地区センターだより	☒ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☒ 中学生 ☐ 高校生	自習 読書 卓球
二本木分館	0	☐ 午前 ☐ 午後 ☐ 午前・午後	0	0.00			☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	-
藤沢公民館	7	☐ 午前 ☐ 午後 ☒ 午前・午後	10	1.43	洋室E	地区センターだより	☐ 小学校低学年 ☒ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	自習 読書
藤の台分館	0	☐ 午前 ☐ 午後 ☐ 午前・午後	0	0.00	-	-	☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	-
東藤沢公民館	4	☐ 午前 ☐ 午後 ☒ 午前・午後	8	2.00	洋室C	地区センターだより	☒ 小学校低学年 ☒ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	自習 読書
西武公民館	0	☐ 午前 ☐ 午後 ☐ 午前・午後	0	0.00	-	-	☐ 小学校低学年 ☐ 小学校高学年 ☐ 中学生 ☐ 高校生	-
春休み合計	66	-	193	2.92	-	-	-	-

令和7年度入間市博物館協議会協議事項について 「次期入間市博物館基本計画の策定について」

令和8年4月教育委員会定例会

担当：博物館

令和7年度の入間市博物館協議会では、第3期入間市博物館基本計画（令和9～13年度）の策定にあたり、博物館運営に係るアンケートを実施し、次期計画の整理、素案（案）についての協議を行いました。

以下、令和7年度入間市博物館協議会での協議事項について報告します。

【令和7年度・8年度の主要議題】

- ・第3期入間市博物館基本計画について

【会議日程と協議事項の概要】

第1回会議 令和7年7月18日開催（委員8名出席）

協議事項：第3期入間市博物館基本計画の策定に向けて

第2期入間市博物館基本計画（令和4～8年度）の進捗状況について中間報告を行い、その認知度・達成度を測るための運営アンケートの実施に向けて、設問内容案の協議を行った。

第2回会議 令和7年10月16日開催（委員9名出席）

協議事項：第2期入間市博物館基本計画の現状と課題について

運営アンケートの集計結果の報告とともに、博物館で認識している現状と課題を説明して意見交換を行い、委員と情報の共有を図った。

第3回会議 令和7年12月12日開催（委員9名出席）

協議事項：第3期入間市博物館基本計画に策定について

運営アンケートの分析結果および現状と課題をもとに、次期計画の基本理念と基本方針について協議を行った。また、他の社会教育関係の計画と整合性を図るため、第2期までの構成の見直しについて協議した。

第4回会議 令和8年3月19日開催（委員8名出席）

協議事項：第3期入間市博物館基本計画に策定について

素案（案）をもとに、博物館法の一部改正や、博物館に求められる新たな役割・機能をふまえ、各基本方針における重点施策の内容について協議を行った。

【参考】入間市博物館協議会

博物館法第23条第1項の規定並びに入間市博物館条例に基づき設置。博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるために設置されている。令和7・8年度委員10名。

令和8年度 博物館授業カレンダー

令和8年4月8日 現在

4月	午前	午後	5月	午前	午後	6月	午前	午後	7月	午前	午後	8月	午前	午後	9月	午前	午後
1	水		1	金		1	月●		1	水		1	土△		1	火	
2	木		2	土△		2	火		2	木		2	日△		2	水	
3	金		3	日△		3	水	黒須中1	3	金		3	月●		3	木	
4	土△		4	月△		4	木		4	土△		4	火		4	金	
5	日△		5	火△		5	金		5	日△		5	水		5	土△	
6	月●		6	水△		6	土△		6	月●		6	木		6	日△	
7	火		7	木●		7	日△		7	火		7	金		7	月△	
8	水		8	金		8	月●		8	水		8	土△		8	火	
9	木		9	土△		9	火	豊岡中1	9	木	藤沢中1 藤沢中1	9	日△		9	水	向原中1 向原中1
10	金		10	日△		10	水		10	金		10	月●		10	木	
11	土△		11	月●		11	木		11	土△		11	火△		11	金	
12	日△		12	火		12	金		12	日△		12	水●		12	土△	
13	月●		13	水	東町中1	13	土△		13	月●		13	木		13	日△	
14	火		14	木		14	日△		14	火		14	金		14	月	
15	水		15	金		15	月●		15	水		15	土△		15	火	
16	木		16	土△		16	火		16	木		16	日△		16	水	
17	金		17	日△		17	水		17	金		17	月●		17	木	
18	土△		18	月●		18	木	西武中1 西武中1	18	土△		18	火		18	金	
19	日△		19	火		19	金		19	日△		19	水		19	土△	
20	月●		20	水	武蔵中1	20	土△		20	月△		20	木		20	日△	
21	火		21	木		21	日△		21	火●		21	金		21	月△	
22	水		22	金		22	月●		22	水		22	土△		22	火△	
23	木		23	土△		23	火◎		23	木		23	日△		23	水△	
24	金		24	日△		24	水		24	金		24	月●		24	木●	
25	土△		25	月●		25	木		25	土△		25	火◎		25	金	
26	日△		26	火◎		26	金		26	日△		26	水		26	土△	
27	月●		27	水		27	土△		27	月●		27	木		27	日△	
28	火◎		28	木	上藤中1	28	日△		28	火		28	金		28	月●	
29	水△		29	金		29	月●		29	水		29	土△		29	火	
30	木●		30	土△		30	火		30	木		30	日△		30	水	
31	土△		31	日△		31	月		31	金		31	月●		31	火	

10月	午前	午後	11月	午前	午後	12月	午前	午後	1月	午前	午後	2月	午前	午後	3月	午前	午後
1	木		1	日△		1	火		1	金●		1	月●		1	月●	
2	金		2	月●		2	水		2	土△		2	火	金子小3	2	火	
3	土△		3	火△		3	木		3	日●		3	水	黒須小3	3	水	
4	日△		4	水●		4	金		4	月●		4	木	東町小3 藤北小3	4	木	
5	月●		5	木		5	土△		5	火◎		5	金	藤南小3	5	金	
6	火		6	金	金子中1	6	日△		6	水		6	土△		6	土△	
7	水		7	土△		7	月●		7	木		7	日△		7	日△	
8	木		8	日△		8	火		8	金		8	月●		8	月●	
9	金		9	月●		9	水		9	土△		9	火	高倉小3 宮寺小3	9	火	
10	土△		10	火		10	木		10	日△		10	水	東金小3	10	水	
11	日△		11	水		11	金		11	月△		11	木△		11	木	
12	月△		12	木	東金中1	12	土△		12	火●		12	金●		12	金	
13	火●		13	金		13	日△		13	水		13	土△		13	土△	
14	水		14	土△		14	月●		14	木	豊岡小3	14	日△		14	日△	
15	木		15	日△		15	火		15	金		15	月●		15	月●	
16	金		16	月●		16	水		16	土△		16	火		16	火	
17	土△		17	火		17	木		17	日△		17	水		17	水	
18	日△		18	水		18	金		18	月●		18	木		18	木	
19	月●		19	木		19	土△		19	火	仏子小3	19	金		19	金	
20	火		20	金		20	日△		20	水	狭山小3	20	土△		20	土△	
21	水		21	土△		21	月●		21	木	藤沢小3	21	日△		21	日△	
22	木		22	日△		22	火◎		22	金	藤東小3	22	月●		22	月●	
23	金		23	月△		23	水		23	土△		23	火△		23	火◎	
24	土△		24	火●		24	木		24	日△		24	水●		24	水	
25	日△		25	水		25	金		25	月●		25	木		25	木	
26	月●		26	木		26	土△		26	火◎		26	金		26	金	
27	火◎		27	金		27	日●		27	水	西武小3	27	土△		27	土△	
28	水		28	土△		28	月●		28	木	扇小3	28	日△		28	日△	
29	木		29	日△		29	火●		29	金	新久小3	29	月●		29	月●	
30	金		30	月●		30	水●		30	土△		30	火		30	火	
31	土△		31	日△		31	木●		31	日△		31	月●		31	水	

● 休館日 ◎ 館内整理日(休館)

■ むかしのくらしと道具展 会期

※小学6年生を対象とした「オンライン授業」については、2学期に実施する計画で、現在各校と日程調整を行っています。

令和8年度 博物館セミナー ALITお茶大学 申し込み・抽選結果

申込期間：令和8年3月25日(水)～4月14日(火)

2026.04.18現在

2020.6.11(水)開催

課目別 申込・抽選結果			定員	申込者数	当選者数	倍率
①体験	手揉み製茶体験(全4日)		20	36	20	1.80
②座学	これだけは知っておきたい！「お茶」と「狭山茶」の基礎知識		80	56	56	0.70
③座学	日本僧たちが出会った中国元代の茶		100	103	103	1.03
④体験	釜師から学ぶ 茶の湯における釜の魅力		20	100	20	5.00
⑤ツアー	狭山茶の生産地見学ツアー～自園・自製・自販型編～		20	78	20	3.90
⑥座学	写真と映像でたどる 入間市の60年と狭山茶		100	87	86	0.87
⑦体験	中国茶の魅力～知って・見て・味わう～	1回目	24	57	24	2.38
		2回目	24	33	24	1.38
⑧座学	復元「旧黒須銀行」見学のススメ		100	72	72	0.72
⑨座学	研究発表会「慈光茶復興プロジェクト」		100	72	72	0.72
研究生	慈光茶復興プロジェクト～鎌倉・室町時代の銘茶を再現～		20	14	14	0.70
	合計		608	708	511	

抽選対象課目→

※座学は定員(100人)を超えて140人まで申し込みを受入れ。

申し込み者の地域内訳	人数	%	昨年度	増減
入間市内	61	29.9%	33.8%	▲ 3.9
所沢市	18	8.8%	8.7%	0.2
狭山市	5	2.5%	3.0%	▲ 0.6
飯能市	6	2.9%	2.2%	0.8
川越市	6	2.9%	4.8%	▲ 1.8
その他県内	26	12.7%	11.3%	1.5
東京都郡部	30	14.7%	16.9%	▲ 2.2
東京都区部	34	16.7%	10.8%	5.8
神奈川県	6	2.9%	2.6%	0.3
群馬県	0	0.0%	0.9%	▲ 0.9
千葉県	4	2.0%	3.5%	▲ 1.5
茨城県	1	0.5%	0.4%	0.1
栃木県	3	1.5%	0.4%	1.0
静岡県	1	0.5%	0.0%	0.5
愛知県	1	0.5%	0.4%	0.1
山形県	1	0.5%	0.4%	0.1
北海道	1	0.5%	0.0%	0.5
合計	204	100%	231件	

申し込み方法内訳	件数	%	昨年度	増減
電子	169	82.8%	76.6%	6.2
郵送・窓口	30	14.7%	19.0%	▲ 4.3
FAX	5	2.5%	4.3%	▲ 1.9
合計	204	100%	231件	

令和7年度入間市図書館協議会協議事項について 「次期入間市立図書館基本計画の策定について」

令和8年4月教育委員会定例会

担当：図書館

令和7年度の図書館協議会においては、第4次入間市立図書館基本計画（令和9～13年度）策定にあたり、図書館アンケートの結果を踏まえ次期計画の整理、素案（案）についての協議を行いました。

また、入間市立図書館本館の指定管理者制度の導入について、諮問し、答申を受けました。

以下、令和7年度図書館協議会での協議事項について報告します。

【令和7年度・8年度の主要議題】

- ・第4次入間市立図書館基本計画について

（会議日程と協議事項の概要）

第1回会議 令和7年7月2日開催（委員9名出席）

協議事項①：次期入間市立図書館基本計画について

現図書館基本計画の進捗状況と課題について協議を行った。

第2回会議 令和7年10月1日開催（委員10名出席）

協議事項：入間市立図書館本館の指定管理者制度の導入について（諮問）

図書館利用者の利便性を図るため、分館におけるこれまでの民間事業者による運営状況を検証したうえで、今後の図書館のあり方を踏まえて、本館を含めた一体的な図書館運営の民営化について検討する必要があることから、図書館本館の指定管理者制度の導入について、図書館協議会へ諮問した。

第3回会議 令和7年10月29日開催（委員10名出席）

協議事項：入間市立図書館本館の指定管理者制度の導入について（答申）

図書館本館の指定管理者制度の導入について、利用者サービス向上の視点を持ち、本館と分館を一体的に運営することによる効果を、総合的に勘案しながら協議を行った。その結果、図書館本館へ指定管理者制度を導入することは妥当と答申を受けた。

第4回会議 令和8年1月29日開催（委員9名出席）

協議事項：次期入間市立図書館基本計画について

図書館アンケート結果をもとに、次期計画の骨子についての整理を行った。

第5回会議 令和8年3月26日開催（委員8名出席）

協議事項：次期入間市立図書館基本計画について

次期計画の素案（案）として、計画の構成や記載内容についての協議を行った。また、次期計画の施策展開を行う上で必要な視点について協議を行った。

【参考】入間市立図書館協議会

図書館法第14条第1項の規定に、並びに入間市立図書館設置及び管理条例に基づき設置。図書館の運営に関して館長の諮問に応じ、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べるために設置したもの。令和7・8年度委員10名。

令和８年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

（令和７年度対象）

入間市教育委員会

目 次

◇ はじめに、点検・評価の基本方針	1
◇ 外部評価（全体を通して）	3
◇ 点検評価シート	5
◇ 「令和7年度入間市の教育」抜粋	6 9

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表する必要があることから、本市教育委員会は、本報告書を作成したものである。

なお、首長部局にて委任や補助執行等を行っている事務のうち、本市教育委員会の権限に属する事務については、当該報告書にて点検・評価を行った。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の基本方針

1 目的

本市教育委員会では、毎年「入間市の教育」を策定して、その中で基本理念及び基本方針を定め、その目標に沿った事業を展開している。（P69「令和7年度入間市の教育」抜粋参照）

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様に対する説明責任を果たしていくことを目的として、地教行法の規定により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果について議会に報告するとともに、市公式ホームページに公表するものである。

2 施策を評価する表における「指標の推移」及び「成果実績」について

「指標の推移」については、令和8年度末において達成を目指す施策の成果や達成度を測るために、指標及び説明とともに令和8年度までの実績値を掲載している。

「成果実績」については、目標値の設定がない施策について、令和8年度までの成果実績を数値化し、実績値及び達成状況の把握を行う。

点検・評価方法

①自己評価

毎年策定している「入間市の教育」の政策ごとの各施策について、施策の目標、取り組み状況を明記し、評価基準にそった自己評価を行うとともに今後の方針を明らかにした。

【評価基準】

評 価	基 準
A	施策、事業の達成度、進ちよくが順調である。 目標値に対し達成度が非常に高い。 目標値の場合、基準値（令和2年度）を基本とし目標値からみて実績値の達成状況が80%以上
B	施策、事業の達成度、進ちよくがおおむね順調である。 目標値に対し達成度が高い。 目標値の場合、基準値（令和2年度）を基本とし目標値からみて実績値の達成状況が50%以上80%未満
C	施策、事業の達成度、進ちよくがあまり順調でない。 目標値に対し達成度がやや低い。 目標値の場合、基準値（令和2年度）を基本とし目標値からみて実績値の達成状況が20%以上50%未満
D	施策、事業の達成度、進ちよくが順調でない。 目標値に対し達成度が低い。 目標値の場合、基準値（令和2年度）を基本とし目標値からみて実績値の達成状況が20%未満

※目標値は、その施策の目標・目的の中で数値化できるものを表したもの。

施策の評価は、指標の進ちよくだけでなく、その他の事業実績等も包含した上で総合的に評価している。

②外部評価

自己評価に対して、学識経験者（〇〇大学 〇〇 〇〇 先生 及び〇〇大学 〇〇 〇〇 先生）に外部評価をお願いした。なお、この外部評価については、全体を通した評価と政策毎の評価をしていただいた。

学識経験者の意見等（知見の活用について）

教育委員会の事務点検評価報告書作成過程において、次のとおり学識経験者から意見があり、それらを踏まえ部分的に修正を行いながら、本点検評価報告書を作成した。

1. 全体を通して

〇〇大学 〇〇 〇〇先生

〇〇大学 〇〇 〇〇先

2. 各基本目標について

点検評価に対する学識経験者の意見は、次のとおり分担して依頼した。

〇〇大学 〇〇 〇〇 先生

①全体を通した評価

②政策（項）ごとの評価

政策2 生涯学習

第1項 生涯学習の推進

政策4 社会教育

第1項 社会教育の充実

第2項 社会教育施設等の整備

政策5 スポーツ・レクリエーション

第1項 生涯スポーツの充実

〇〇大学 〇〇 〇〇 先生

①全体を通した評価

②政策（項）ごとの評価

政策1 人権教育

第1項 人権の尊重と権利の擁護

政策3 幼児・学校教育

第1項 学校教育の充実

第2項 幼児教育の充実

第3項 学校施設の整備

主 な 取 組	人権の啓発						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	基本的人権の尊重という普遍的な視点から、総合的・体系的な教育活動の推進、人権教育に係る学習機会の充実などに取り組み、人種・信条・性別・社会的身分・門地（家柄）・年齢・障害の有無等による差別のない、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重する社会を目指す。							
取 組 状 況 及 び 成 果	人権の啓発、人権教育を推進し事業の継続を行い、内容の充実を図った。							
指標及び説明	【指標】 人権作文への取り組み率					【説明】 人権作文に取り組んでいる学校数により、人権啓発活動の充実度を判断します。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8平時
			平時	平時	平時	平時		100
		R 2有事	100	100	100	100		R 8有事
分 析	指導資料の作成や研修会の実施を通じて、指導内容の充実を図ることができている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続するとともに、これまでの人権問題に加え、生活様式の多様化や国際化、経済格差の広がりにより新たな人権問題が生じており、時代に合った人権教育・啓発活動に取り組む内容の充実を図る。							

※「平時」「有事」とは

本点検・評価報告書における平時とは、with コロナで、様々な制約を受けながらも、日常生活を取り戻しつつある状態を想定しています。有事とは、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発出され、施設を休館する等、通常の事業ができない非常事態を想定しています。現状値の令和元年度は、年度末にコロナの影響を受けましたが平時とし、令和2年度を有事としています。平時における令和8年度の目標値は、令和8年度まで平時が続いた場合を想定し、有事における令和8年度の目標値は、令和8年度まで有事が続いた場合を想定しています。

また、有事においても、目標値に影響が無い場合は、「－」としています。令和3年度以降に、新規に開始した事業等で、令和2年度以前の現状値を示せない場合は、指標に「新規」と表記し、現状値を「－」としています。

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (1) 人権施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P11

主 な 取 組	人権教育の推進						担当課	自己評価
							社会教育課	C
目 標	自ら学び、人権感覚と共生の心を育む人権教育を推進するため、人権啓発講座、人権教育実践報告会等を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	人権問題に関する講演会や講座を通して、広く市民に人権感覚を養い、問題解決のための学習機会を提供している。5 公民館で人権啓発講座（テーマ「性的マイノリティ」「同和問題」「インターネットと人権」「障害者の人権」「災害と人権」）を、3 公民館で夏休み人権映画会を実施した。 人権教育推進事業として、小中学校PTAが実施している家庭教育学級のテーマに、人権問題を取り上げた。また、学校・PTA・公民館が今年度の人権教育の取り組み事例報告書を作成した。 夏休み人権映画会 3 回実施 延べ49 人 人権啓発講座 5 回実施 延べ84 人 内 28 人（6PTA） PTA家庭教育学級からの参加者 人権問題講演会 33 人参加 PTA家庭教育学級 延べ143 人（4PTA）							
指標及び説明	【指標】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数				【説明】人権問題に関する講演会、講習会の参加者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		726	平時	平時	平時	平時		800
		R 2 有事	395	364	382	309		R 8 有事
		315						800
分 析	人権問題講演会は、入間市PTA連合会との共催により実施し、PTAからの参加を得ることができた。また、PTA家庭教育学級や小中学校、公民館においてそれぞれ人権問題をテーマとした事業に取り組み、学習機会の拡充につながった。							
課 題 及 び 改 善 点	参加者の固定化を防ぎ、より幅広い市民が参加しやすいテーマ設定・周知方法の工夫が必要である。そのため、日常生活に結び付くテーマの設定や、開催方法(会場開催・在宅型等)の工夫により参加者層の拡大を図るとともに、他団体組織との役割分担・広報連携を強化し、事業効果の向上につなげる。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【表1】第1次人権啓発計画の進捗状況

施 策	(1) 人権施策の推進			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	人権の啓発	学校教育課	A	B
	人権教育の推進	社会教育課	C	
学 識 経 験 者 意 見 等				

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (2) 平和施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主 な 取 組	平和意識の高揚						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	「入間市平和都市宣言」の趣旨に基づき、基本的人権の尊重という普遍的な視点から、平和の尊さについての啓発活動を推進し、平和意識の高揚を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	「平和を願う講演会」を計画通り開催し、平和意識の高揚を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】 平和に関する講演会の実施				【説明】「平和を願う講演会」の学校の実施率により、平和意識の高揚度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		100	平時	平時	平時	平時		100
		R 2 有事	100	100	100	100		R 8 有事
		0						
分 析	被爆体験の講演を通じて、平和の大切さ・尊さを学ぶことができている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図るとともに、講師が御高齢のため、新しい講師の発掘を行う。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施 策	(2) 平和施策の推進			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価
	平和意識の高揚		学校教育課	A
学 識 経 験 者 意 見 等				

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
LIBRARY
1100 EAST 58TH STREET
CHICAGO, ILL. 60637

8.11.87

1987

主 な 取 組	学習情報の提供							担当課	自己評価
								社会教育課	B
目 標	市民の学習と活動を支援する情報の収集・提供を進め、ＩＣＴ機器を活用した情報発信の充実を図ります。								
取 組 状 況 及 び 成 果	市民の学習と活動を支援する情報の収集・提供を行い、市公式ホームページ、SNSなどにより学習情報を提供した。 インターネット等を活用した学習情報の提供 「いるま生涯学習出前講座」36件 「生涯学習ガイドブック」年2回、「いるま学びの場」年1回の発行								
指標及び説明	【指標】 学びの場ホームページへのアクセス数					【説明】 ホームページへのアクセス件数により、学習環境の充実度を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		8,834	平時	平時	平時	平時		10,500	
		R 2 有事	7,336	7,016	7,678	7,662		R 8 有事	
		4,236						5,100	
分 析	インターネット等を活用した学習情報の提供を継続するとともに、「いるま学びの場」を発行するなど、事業は概ね計画どおりに実施できた。								
課 題 及 び 改 善 点	学習情報の発信はインターネットやSNS等のデジタル媒体に比重が置かれやすく、情報機器を使用しない市民に情報が届きにくいおそれがあるため、紙媒体による情報発信を継続するなど対象に合わせた情報提供を進める。 また、インターネット、SNS、刊行物等の使い分けと各媒体の連携方法を整理し、多様な市民ニーズに対応した情報発信の充実を図る。								

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

【施策】 (1) 学習環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 2

主 な 取 組	学習機会の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	C
目 標	市民活動団体や大学・企業等との連携・協働を図り、市民が学んだことをまちづくりに生かせる学習機会を提供します。また、障害者が地域の一員として豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じた学習機会を提供します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	市民活動団体や大学・企業等との連携・協働を図り、市民が学んだことをまちづくりに生かせる学習機会を提供した。 まちの先生講座受講者 延べ461人 生涯学習フェスティバル会場参加者 300人 文芸入間投稿者 延べ 114人 いるま生涯学習出前講座受講者 780人 子ども大学さやま・いるま修了生 31人 子ども音楽大学いるま修了生 11人							
指標及び説明	【指標】生涯学習事業への参加者数					【説明】事業への参加者数により、学習環境の充実度を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		6,308	平時	平時	平時	平時		7,000
		R 2 有事	3,044	3,690	4,078	1,690		R 8 有事
		864						1,000
分 析	生涯学習フェスティバルの会場を、産業文化センターから市民活動センターへ変更したため、参加者数は減少した。一方で、担い手不足の中、継続した学習機会の提供という観点においては一定の成果を得られたものと考える。							
課 題 及 び 改 善 点	まちづくり活動の担い手の高齢化が進行し、後継者不足が課題である。そのため、若年層や現役世代の参画につながるテーマ設定や周知方法を工夫するとともに、団体運営や活動継承に関する学習機会を設け、後継者の育成を図る。							

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

【政策】第1項 生涯学習の推進

施 策	(1) 学習環境の整備			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学習情報の提供	社会教育課	B	B
	学習機会の充実	社会教育課	B	
学 識 経 験 者 意 見 等				

主 な 取 組	学習成果活用の奨励						担当課	自己評価
							社会教育課	B
目 標	市民が学習した成果を発表する事業の充実を図り、市民の学習活動を奨励します。市民が習得した知識、経験、技術等を地域へ生かす市民講師登録制度の充実を図る。また、登録した市民講師が実施する講座の充実を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	市民が習得した知識、経験、技術等を地域へ生かす市民講師登録制度を実施し、その登録した市民講師の活躍の場として、市民講師によるまちの先生講座を実施した。 まちの先生（市民講師） 51人 まちの先生講座 26講座（受講者数延べ461人）							
指標及び説明	【指標】 市民講師数、事業の実施数				【説明】 生涯学習に関する市民講師の人数及び市民講師が実施する講座の数により、市民の学習成果活用の推進度を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人 講 座	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		61 31	平時	平時	平時	平時		65 35
		R2有事	55	47	49	51		R8有事
		61 22	9	27	26	26		— 25
分 析	「まちの先生」登録は、新規申し込みがあり、市民講師は微増したが、「まちの先生」を活用した市民講座である「まちの先生講座」は、講座数の変更がないことから、講師となることに関心はあるが、定例的に講座を設けることは荷が重いと感じているのではないかと考える。							
課 題 及 び 改 善 点	「まちの先生」の活躍の場を充実させるため、受講者が受講しやすいまちの先生講座の仕組みを検討する。また、登録制度自体も含めたPRをすすめ、その活用の充実化を図る。							

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

【施策】 (2) 学習成果の活用

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P13

主 な 取 組	市民との協働						担当課	自己評価
							社会教育課	A
目 標	地域で仲間と学ぶ市民を「いるまなびと」として位置づけ、「いるまなびと」が市民に定着し、より多くの市民が「いるまなびと」として学びを推進し、学んだことを暮らしや地域に生かし、市民との協働で各種事業の計画・立案・運営を進めていきます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	学んだことを発表する場として、市民の投稿による冊子である文芸入間を発刊した。 市民との協働で生涯学習フェスティバルを実行委員会方式で実施した。 文芸入間 第48号の発刊 第30回いるま生涯学習フェスティバルの開催							
指標及び説明	【指標】 市民活動団体等の協働による事業数				【説明】 連携協力による事業数により、市民との協働の推進度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		2	平時	平時	平時	平時		2
		R2 有事						R8 有事
		2	2	2	2	2		—
分 析	生涯学習フェスティバルは、参加者は少ないながらも充実した内容であり参加団体による学びあいが深まったと考える。							
課 題 及 び 改 善 点	生涯学習をすすめる市民の会委員、文芸入間編集委員については、委員拡充など委員数の確保と維持が課題である。なお、文芸入間編集委員については、委員の公募を行ったことにより、新たに3名の委員に参画いただくこととなった。							

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

施 策	(2) 学習成果の活用			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価
	学習成果活用の奨励		社会教育課	B
	市民との協働		社会教育課	A
学 識 経 験 者 意 見 等				

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

主 な 取 組	学校経営の充実						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	児童・生徒に対する教育的支援の充実を図り、変化の激しい社会を生き抜くための力を育む							
取 組 状 況 及 び 成 果	【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 5							
指標及び説明	【指標】コミュニティ・スクールの導入率				【説明】小中学校区へのコミュニティ・スクールの設置状況により、導入率を判断。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時	平時	平時		100
		R 2 有事	100	100	100	100		R 8 有事
		-						100
分 析	全中学校区でコミュニティ・スクールを実施し、地域の特色を活かした人材活用など計画・実践することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	コミュニティ・スクールの導入から3年が経ち、それぞれの地区によって課題があきらかになってきた。運営の仕方も含め、委員の人材選定、地域の特色を十分に活用したものにしていきたい。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 5

主 な 取 組	I C T機器を活用した支援						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	児童・生徒に対する教育的支援の充実を図り、変化の激しい社会を生き抜くための力を育みます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①ミライシード活用研修の実施（1回） ②ICT活用研修会（1回） ③入間市夏季教育講演会（ベネッセコーポレーションより）（1回） ④学校指導訪問や校内研修での ICT 機器の使用方法的指導・評価の実施（随時）							
指標及び説明	【指標】 週1～2回以上の利用率				【説明】 G I G Aスクール構想実現に向けた進捗状況等に関する調査（文科省）の数値で判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8平時
		-	平時	平時	平時	平時		9 8
		R 2有事	-	-	92	96		R 8有事
		-						
分 析	学習支援ソフト「ミライシード」が大幅にアップデートしたことを受けて、その周知および研修を実施することができた。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する基盤として、G I G Aスクール構想を推進した。ソフト会社とも交流して、教材や各種テンプレートの充実も実現した。							
課 題 及 び 改 善 点	教育DXを推進していく。また、教職員への情報提供を充実させる。							

主 な 取 組	生徒指導・教育相談の充実						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	事業を継続し、内容の工夫改善を図りながらいじめ解消率100%を目指していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①生徒指導訪問や巡回訪問を各学期に最低1回以上実施し、各学校の児童生徒の状況、学校の対応状況を把握した。 ②生徒指導主任対象の研修を実施し、法の理解や関係機関との連携について周知した。また各校の対応を情報共有し、生徒指導事案の早期発見・早期対応に努めるよう周知した。 ③スクールソーシャルワーカーと連携を図り、支援が必要な子どもの状況を把握した。 事例に合わせてソーシャルワーカーと情報共有を図り、協議した。 ④福祉、医療等の関係機関との連携を強化し、年間を通してケース会議・支援会議を実施した。また、様々な関係機関との連携を図った。							
指標及び説明	【指標】いじめ解消率					【説明】生徒指導調査の分析により、いじめの解消率を判断。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		68	平時	平時	平時	平時		100
		R2有事	43	50	58	56		R8有事
		72						—
分 析	福祉・医療等の関係機関との連携が図られ、充実した児童支援を行うことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、関係機関との連携を密に行う。特に学校と関係機関との連携が強化できるよう支援する。							

主 な 取 組	子ども未来室事業の推進						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	入間市に育つすべての子どもたちの豊かな育ちと学びを実現し、一人一人の自立を総合的に支援する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	小・中学校における特別支援学級や通級指導教室担当者の指導力向上が図れた。 保幼小の接続、「茶おちゃお」と小学校との連携をより丁寧に進められた。 他職種連携が効果的に図れるようになり、相談内容や支援方法の共有ができた。 教育・福祉・保健の連携を持続可能なものにするために、支援者の枠を広げ、より良い連携が図れた。SSWの小・中学校への派遣が広がり、支援に繋がる児童生徒や家庭が増えた。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R1 平時	R4 平時	R5 平時	R6 平時	R7 平時	R8	R8 平時
		R2 有事						設定困難
								R8 有事
分 析	研修を広く行うことで、多職種連携の理解が進んだり、専門職が小・中学校に入り支援したりする仕組みが構築されつつある。							
課 題 及 び 改 善 点	教育と福祉と保健の連携に加え、医療、ほかの専門職との連携へも広げていく。 不登校の未然防止策としても、発達支援の継続の意味でも、幼児で充実している支援を児童・生徒に拡大し、専門職（作業療法士・臨床心理士）による小中学校への巡回がR8から実施できるので、SSWを含めた学校支援の在り方を形にしていける必要がある。							

主 な 取 組	教材・図書等の充実						担当課	自己評価
							教育総務課	B
目 標	学習指導要領に対応する教材教具を整備し、良好な教育環境の確保とよりわかりやすい授業を展開するための教育内容の充実に向けて、学校管理備品、教育教材備品、学校図書館図書等を計画的に購入します。							
取組状況及び成果	令和7年度も文部科学省学校図書館図書標準による学校図書館蔵書充足率向上を目標とし、児童生徒が良書に親しむ環境の整備と学校図書の充実を図るため、引き続き予算措置を行いました。また、以前から市立図書館が実施している移動図書館（希望のあった学校に週に1回訪問）は、子供たちが学校図書館には蔵書していないより多くの良書に触れる機会を作り読書活動の充実を図っています。							
指標及び説明	【指標】図書館蔵書充足率				【説明】文部科学省学校図書館図書標準による学校図書館蔵書充足率(平成5年度に定めた公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準)			
指標の推移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		85.90	平時	平時	平時	平時		
		R2有事						R8有事
		86.36	85.52	86.62	86.52	83.75		
分 析	経年劣化等により、1,071冊（小学校 565冊、中学校 506冊）書籍の廃棄がありました。合計1,622冊（購入1,048冊及び寄贈 574冊）の購入等を行いました。西武中学校の統合で学校数が減った影響もあり、結果として充足率は下がりました。							
課 題 及 び 改 善 点	大変厳しい財政状況ですが、引き続き学校図書館図書充足率100%を目標とし予算措置を進めるとともに、公共図書館との連携についても、より一層の充実を図れるよう検討します。また、児童生徒が一人1台使用しているタブレット端末には、調べ学習や発表等の主体的且つ協同的な学びに活用できる様々なツールが標準装備されていることから、図書蔵書の充実と共に、必要に応じたツールや媒体を子どもたちが選択できる教育環境の整備を目指します。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P16

主 な 取 組	子育て家庭への経済的支援						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	内容の充実を図り、必要な家庭への援助を確実に行う。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①就学援助制度による学校諸経費、学用品費、給食費、校外活動・修学旅行費等の支援充実→申請に基づき、審査のうえ実施した。 ②小・中学校入学時の学用品費の入学前支給→12月と3月に実施した。 ③新入生保護者会の活用や市長部局（子ども支援部、生活支援課）との連携による就学援助制度の確実な周知→16校及び各課と連携して実施を行った。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	－	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			平時	平時	平時	平時		－
		R 2 有事	－	－	－	－		R 8 有事
								－
分 析	計画通りの支援実施により、義務教育の円滑な実施に資することができている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図る。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

施 策		(1) 学校教育体制及び学習環境の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学校経営の充実	学校教育課	A	A
	I C T機器を活用した支援	学校教育課	A	
	生徒指導・教育相談の充実	学校教育課	A	
	子ども未来室事業の推進	学校教育課	A	
	教材・図書等の充実	教育総務課	B	
	子育て家庭への経済的支援	学校教育課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等				

主 な 取 組	学力向上の充実							担当課	自己評価
								学校教育課	B
目 標	子どもたち一人ひとりについて、確かな学力の習得を目指す。								
取 組 状 況 及 び 成 果	学力向上のための訪問を行い、各小・中学校の授業の様子を確認し、学校指導訪問等において具体的な指導を行った。その結果、市内の全小・中学校で学び合いの授業を実践できた。								
指標及び説明	【指標】家庭学習の実施率					【説明】確かな学力の習得につながる家庭学習			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		78.3	平時	平時	平時	平時		85.0	
		R 2 有事	64.4	62.5	57.4	53.4		R 8 有事	
		81.7						—	
分 析	令和6年度の全国学力学習状況調査から質問内容が変化したため、過去の指標と直接的な比較はできないが、平日・土日の家庭学習は全国平均と同程度の結果となっている。								
課 題 及 び 改 善 点	学校によって取組度合いの差があるため、教育委員会作成の家庭学習リーフレット等を示して、学校の実態に応じた効果的な家庭学習の推進について支援を行う。								

主 な 取 組	豊かな心を育む教育の推進						担当課	自己評価
							学校教育課	B
目 標	子どもたち一人ひとりについて、豊かな心の醸成を目指す。							
取 組 状 況 及 び 成 果	職場体験はすべての中学校で実施できた。狭山茶とふれあう教育については盆点前授業が中学校10校で実施できた。博物館学習は、小学校3年生、6年生（オンライン授業）中学校1年生すべて実施できた。							
指標及び説明	【指標】ふるさと入間への関心度				【説明】国や県の学習状況調査により、関心度の高まりを調査する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		61.9	平時	平時	平時	平時		
		R2有事	52.4	63.4	58.4	55.2		R8有事
分 析	ふるさと入間を愛する心を育むことを通じて、豊かな人間性の育成につながっている。							
課 題 及 び 改 善 点	盆点前授業に使う抹茶の入手が、昨今の世界的な抹茶の需要のため、非常に困難であった。また、値段の高騰もあり、昨年度から約1.5倍程度の値上がりとなっている。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (2) 学校教育内容の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P17

主 な 取 組	健康・安全教育及び食育の推進						担当課	自己評価
							学校教育課	B
目 標	交通安全並びに防災教育及び食に関する指導や推奨を行う。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①小4対象の自転車免許取得の安全教室を全校で実施した。 ②全小中学校で計画的に防災訓練を実施した。 ③「早寝、早起き、朝ごはんの推奨」「食に関する指導」を全小中学校で実施した。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
			平時	平時	平時	平時		
		R2有事	-	-	-	-		R8有事
分 析	計画していた事業内容はほぼ実施することができた。継続することで学校も児童生徒にも活動や内容が浸透している。							
課 題 及 び 改 善 点	各学校の取組を支援することができるよう事業を継続し、内容のさらなる充実を図る。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (2) 学校教育内容の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P17

主 な 取 組	体力向上の充実							担当課	自己評価
								学校教育課	B
目 標	①体育授業、体育的活動量の量的確保と指導内容の充実 ②体力向上を目指した教育活動の工夫改善と学校への支援の充実								
取 組 状 況 及 び 成 果	事業を継続し、内容の充実を図った。								
指標及び説明	【指標】 設定困難					【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	-	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
			平時	平時	平時	平時			
		R 2 有事	-	-	-	-		R 8 有事	
分 析	ICT 機器の活用や学び合いによる授業展開など学校現場では定着されつつある。								
課 題 及 び 改 善 点	引き続き児童生徒の体力向上を目指し、新体力テストの分析を活かして、運動好きな児童生徒を育てよう事業の充実を図る。								

施 策		(2) 学校教育内容の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学力向上の充実	学校教育課	B	B
	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課	B	
	健康・安全教育及び食育の推進	学校教育課	B	
	体力向上の充実	学校教育課	B	
学 識 経 験 者 等 意 見	主な取組である、学力向上の充実、豊かな心を育む教育の推進、健康・安全教育及び食育の推進、体力向上の充実について、自己評価は全てBでした。おおむね適切に実施されたものと思いますが、さらなる充実の余地も残されている評価でもあると拝察します。 学力の向上、体力の向上はともに子どもたちの育ちにおいて重要ですが、いずれもその充実のための取組が実施できたものと思います。実施においては教師の工夫ある授業展開や子どもたちへの指導が重要と考えます。今後は、教師がより良い授業を展開していくための研修の機会や教師の支援の充実を進めていくことにも期待したいと思います。			

主 な 取 組	子ども未来室事業の推進						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	一人一人のより良い成長を支援するため、他課と連携し、事業の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	全ての未就学施設に巡回支援を実施でき、子ども支援・施設支援が充実していた。 「茶おちゃお」と未就学施設、小学校との連携がより密にでき、円滑な接続ができた。 小・中学校における特別支援学級や通級指導教室担当者の指導力向上が図れた。 多職種連携が効果的に図れるようになり、相談内容や支援方法の共有ができた。							
指標及び説明	【指標】 設定困難					【説明】		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			平時	平時	平時	平時		
		R 2 有事	-	-	-	-		R 8 有事
分 析	専門職による巡回支援でのアドバイスにより、幼児が環境に適応できることが増え、小学校1年生が落ち着いてスタートできている。小中一貫教育の礎となっている。							
課 題 及 び 改 善 点	不登校の未然防止策としても、発達支援の継続の意味でも、幼児で充実している支援を見 童・生徒に拡大し、作業療法士・臨床心理士（WISC のアフターフォローも含む）による小 中学校への巡回がR8 から実施できるので、SSW を含めた学校支援の在り方を形にしてい く必要がある。							

主 な 取 組	幼児の通級指導教室を通じた支援						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	人間形成において、非常に重要な役割を持つ幼児期の教育の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①幼児の通級指導教室「茶おちゃお」においての活動。 ②幼児施設向けに「茶おちゃお」の活動内容を個別の説明会を実施。 ③「茶おちゃお」に在籍する幼児の保護者を対象としたペアレントサポート講座の実施。 ④「茶おちゃお」在籍の幼児が入学を予定している小学校との情報交換会の実施。							
指標及び説明	【指標】小学校との情報交換会の実施率				【説明】小学校との情報交換会の実施率			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8	R 8 平時
								1 0 0
		R 2 有事	100	100	100	100		R 8 有事
分 析	保育所、小学校、関係各課との連携や巡回を通じて、きめ細かな対応ができている。 保護者が、茶おちゃおの先生方に悩みを相談できることで、考え方が変わり子どもも良い変化が見られてきた。							
課 題 及 び 改 善 点	ペアレントサポート講座が、直前に日程変更があり、当初予定していた内容と変わってしまうことがあり、参加者が減ってしまった。講座内容の見直しを行う。							

主 な 取 組	保護者への情報提供と支援	担当課	自己評価					
		学校教育課	B					
目 標	保護者の方へ安心して子育てができるような情報提供や支援をする。							
取 組 状 況 及 び 成 果	悩み相談電話（悩みゼロ）の相談を必要に応じて対面相談にすることで、より多くの相談に柔軟に対応することができた。 不登校傾向のある保護者に特化した会や、相談電話のチラシのリーバー配付、「茶おちゃお」に通っている保護者との会など、相談窓口としての機能を広げることができた。 親の学習講座は年間27回実施することができ、参加型の講座により、保護者の方の子育てに対する不安を軽減できた。							
指標及び説明	【指標】 設定困難	【説明】						
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値	目標値				
		R1平時	R4 平時	R5 平時	R6 平時	R7 平時	R8	R8平時
		R2有事	-	-	-	-		R8有事
分 析	保護者の方の子育てに対するサポート、不安軽減につながっている。 こちらからの発信を強化したことで、より多くの方の相談を受けたり、その相談を専門職に繋げたりするなど、保護者支援が進んだ。							
課 題 及 び 改 善 点	保護者のニーズに合わせた内容や人材の発掘や育成 多職種連携の継続							

主 な 取 組	保幼小中連携・接続研修会の実施						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	人間形成において、非常に重要な役割を持つ幼児期の教育の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	保育士・教諭等を対象とする発達障害への適切な対応と支援方法を学ぶ研修会の実施。							
指標及び説明	【指標】 研修の実施率				【説明】 研修の実施率			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8平時
			平時	平時	平時	平時		1 0 0
		R 2有事	100	100	100	100		R 8有事
分 析	保育士・教諭等の発達障害への適切な対応と支援方法への理解につながった。 保幼小中連携に必要となる保育士・教諭等の交流の一助となった。							
課 題 及 び 改 善 点	保育士・教諭等の交流という視点で考えた際、参集型の研修についても検討が必要である。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

【施策】 (1) 幼児教育の環境整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P18

主 な 取 組	幼稚園就園世帯への支援						担当課	自己評価
							保育幼稚園課	A
目 標	幼児教育にかかる経済的負担の軽減を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	幼児教育・保育の無償化事業による入園料・保育料の補助、給食費のうち副食費分に対する補助等を実施し、幼児教育にかかる経済的負担の軽減を図った。保育料等は毎月各園からの請求により補助(支払い)実施している。副食費補助は年度末一括補助のため、令和7年度分は申請受付を行い、これから集計、支払い処理となる。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
			平時	平時	平時	平時		
		R2有事	—	—	—	—		R8有事
分 析	対象者からの申請による補助のため毎年度申請数等が異なり、目標件数・金額等として設定はできないが、申請受付分に対する補助は実施できている。							
課 題 及 び 改 善 点	対象は毎年一定ではないため、引き続き制度の周知を図っていく。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

施 策	(1) 幼児教育の環境整備			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	子ども未来室事業の推進	学校教育課	A	A
	幼児の通級指導を通じた支援	学校教育課	A	
	保護者への情報提供と支援	学校教育課	B	
	保幼小中連携・接続研修会の実施	学校教育課	A	
	幼稚園就園世帯への支援	保育幼稚園課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等				

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

【施策】 (1) 学校施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P19

主 な 取 組	校舎・屋内運動場の整備						担当課	自己評価
							教育総務課	A
目 標	公共施設マネジメントの考え方に基づく施設の再整備に取り組み、サービスの適正化を考慮しつつ、公共施設全体の視点から学校施設の最適化を進めます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	○小中学校施設における維持管理 ○小中学校施設における整備事業の計画的な推進 (1)藤沢東小学校校舎便所改修工事 (2)東金子中学校屋内運動場外壁等改修工事 (3)豊岡小学校外8校防犯カメラ設置工事 (4)藤沢北小学校自動火災報知設備改修工事 (5)黒須中学校自動火災報知設備改修工事 (6)豊岡小学校外7校校舎等照明器具LEDリース ほか							
指標及び説明	【指標】 年度当初に計画した事業数				【説明】 維持管理及び施設整備にかかる事業			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		151	平時	平時	平時	平時		150
		R2有事	156	155	138	140		R8有事
		152						－
分 析	計画した施設整備にかかる事業は、概ね滞りなく改修工事等を実施することができた。学校施設の維持管理にかかる事業についても、概ね目標どおり実施した。また、各学校で課題となっている樹木についても、伐採や剪定等適切に行うことができた。これにより、子ども達の安心・安全な学習環境を整備することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	継続的な事業であるため、課題についてはこれまでと変わらない。令和3年度から35人学級編制が開始されたことや、バリアフリー法の改正により、これまでの学校施設整備に加え、新たな課題もあるため、公共施設マネジメント事業計画や、教育委員会の『入間市立小・中学校の適正化に関する基本方針』に基づき、統廃合や大規模改修、長寿命化、改築工事等を計画的に進めていかなければならない。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

施 策	(1) 学校施設の充実・最適化			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価
	校舎・屋内運動場の整備		教育総務課	A
学 識 経 験 者 意 見 等				

主 な 取 組	学校給食センター施設・設備の整備						担当課	自己評価
							学校給食課	A
目 標	学校給食にかかる施設や設備の改修、改善等を適切に行い、安心・安全でおいしい給食の安定的な提供を確保します。							
取組状況及び成果	・老朽化した施設・設備を修繕等によって維持し、給食提供を継続できるように努めた。 ・工事が順調に進むように建設業者や関係部署と定例会を開催し、工事の進捗状況や確認事項を共有するように進めた。 ・炊飯施設やアレルギー対応を進めている先進地の給食センターを視察し、調理工程や作業動線などを確認することで、より実効性の高い準備を進めることができた。							
指標及び説明	【指標】学校給食センター更新進捗率				【説明】建て替えの進捗率			
指 標 の 推 移	単位	指 標 の 推 移			単位			指 標 の 推 移
	%	R 1 平時		R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8 平時
		5						
		R 2 有事		25	45	65	80	R 8 有事
		10						
						100		
分 析	基本・実施設計の内容に基づき、工事を進め、工期延長等の大きなトラブルが無く、令和8年2月27日に予定どおり竣工を迎えることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	・新たな給食センターでの稼働がスムーズに進むよう、引き続き栄養士や調理員とともに調整を進める必要がある。 ・二期工事である解体・外構工事の準備を進める必要がある。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

【施策】 (2) 学校給食施設・設備の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P20

主 な 取 組	自校給食施設・設備の整備							担当課	自己評価
								学校給食課	A
目 標	学校給食にかかる施設や設備の改修、改善等を適切に行い、安心・安全でおいしい給食の安定的な提供を確保します。								
取組状況及び成果	・スチームコンベクションオーブンは、令和6年度に全校の設置が完了したため、令和7年度は、設置から10年以上経過している学校を対象に機器の入れ替えを実施した。 ・真空冷却機は、小学校2校に対し新たに設置したことで、夏場の衛生管理の改善に繋げることができた。								
指標及び説明	【指標】 スチームコンベクションオーブン及び真空冷却機設置率					【説明】 未設置校への設置を計画的に進め、設置の進捗により判断する。			
指 標 の 推 移	単位	指 標 の 推 移			単位			指 標 の 推 移	
	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時	
		13	平時	平時	平時	平時		90	
		R2有事	50	65	78	84		R8有事	
		22						90	
分 析	スチームコンベクションオーブンの更新と真空冷却機の導入により、夏場の調理環境と衛生管理が向上し、献立の充実が図られた。								
課 題 及 び 改 善 点	・スチームコンベクションオーブンは、引き続き、経年劣化が進んでいる学校から機器の入れ替えを進める必要がある。 ・真空冷却機は、設置校と未設置校との格差を無くすため、引き続き、計画的に設置を進める必要がある。								

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

【政策】第5項 学校給食の整備

施 策	(2) 学校給食施設・設備の充実			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学校給食センター施設・設備の整備	学校給食課	A	A
	自校給食施設・設備の整備	学校給食課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等				

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	常設展示において研究成果を提供するほか、市民ニーズを考慮した特別展・企画展等を実施し、多様な形で市民の学習活動を支援する。また、調査研究の成果を生かし、幅広い市民のニーズに対応した講座を行う。さらに展示ガイドアプリなどの I C T機器を活用した情報提供の充実を図る。							
取組状況及び成果	企画展「戦争と入間の人々」、「季節でみる入間市の野生植物原画展」や、「むかしのくらしと道具展」、食文化ミュージアムとしての特色を打ち出したアリットお茶大学、茶会等の事業の実施により学習機会の充実につなげることができた。							
指標及び説明	【指標】博物館観覧者数				【説明】学習機会の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		23,027	平時	平時	平時	平時		30,000
		R 2 有事	20,369	23,989	30,310	31,425		R 8 有事
								10,000
分 析	令和7年度は、異なる趣旨の二つの企画展を実施し、多様な学習機会を提供することで、観覧者の増加につなげた。今後も市民へ博物館資料を活用した質の高い学習機会を提供していくためには、継続的に資料の調査研究等を行っていく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	学習機会の提供に向けての調査研究に要する時間を確保するため、委託が可能な業務については事業者へ委託するなどの対応が必要である。							

主 な 取 組		学習の機会提供の充実					担当課	自己評価	
							図書館	A	
目 標		魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業を充実していく。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努める。							
取 組 状 況 及 び 成 果		【地域情報拠点機能の充実について】 ○入館者数 563,050人（前年度比8,318人） ○移動図書館車の運行 ・定期的な巡回（25か所） ・青少年活動センターのイベントに参加（2回） ・貸出冊数 11,288点、新規利用者登録 27人 ○宮寺配本所の運営 ・おはなし会の実施 2回 ・蔵書に入れ替え ○テーマ本の展示 ・関係各課とも連携を図りながら、「パープルリボン運動関連図書」「人生会議関連図書」等87種類の展示 【利用促進事業について】 ・本館「本の福袋」「夏休み1日図書館員」「おまけつき！おすすめ絵本3冊セット貸出」等の実施 ・分館「ビブリオバトル」「俳句ポストの設置」等の実施 【電子図書館サービスについて】 ・小説や実用書を中心とした蔵書の追加 購入冊数 673冊 ・テーマ本の特集 28種類							
指標及び説明		【指標】入館者数				【説明】図書館入館者数により、学習機会提供の充実度を判断する。			
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
			638,659	平時	平時	平時	平時		720,000
			R2有事	500,396	541,667	554,732	563,050		R8有事
			341,039						430,000
分 析		各館の閲覧席利用者やおはなし会、おたのしみ会参加者が増加したため、また、夏季の「まちのクールオアシス」に協力しているため入館者が増加した。							
課 題 及 び 改 善 点		入館者数について、さらなる増加に努める。また、電子図書館について、利用者への説明など、さらなる周知をして利用増に努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	住民の暮らしを豊かにし、地域を活性化するため、健康づくり、安心・安全な暮らし、趣味・教養の充実、少子高齢社会、情報格差の解消、環境問題、人権問題、貧困問題、伝統文化の継承等に関する教室や講座を開催します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	公民館基本計画で掲げた10の現代的課題を実施できた。							
指標及び説明	【指標】 公民館基本計画で掲げた10の現代的課題をテーマとした学習事業の実績				【説明】 10の現代的課題をテーマとした学習事業をバランスよく実施できたか否かで判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		8	平時	平時	平時	平時		10
		R 2 有事	9	9	10	10		R 8 有事
		4						5
分 析	公民館基本計画において「現代的課題を中心とした学習事業の企画・実施」を重点施策に位置付けたことにより、各館の事業実施回数はバランスよく行うことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	10の現代的課題のうち、貧困問題をテーマとする学習事業の実施数が他のテーマに比べて少なく、実施内容のバランスに偏りがある。そのため、貧困問題をテーマとした学習機会を拡充するため、関係機関・関係団体と連携した企画や、住民が参加しやすい切り口での講座設定を行い、実施数の増加を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	市民や関係団体と連携しながら資料を収集整理、保存することで「もの」と「情報」の集積を図るとともに、調査研究、多様な方法により市民へ情報提供を行う。							
取組状況及び成果	企画展に向けて資料調査、資料整理を行い、その成果を展示により市民へ提供することで、資料情報公開をより進めることができた。							
指標及び説明	【指標】 資料公開件数				【説明】 資料の収集・提供の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		46,877	平時	平時	平時	平時		53,900
		R 2 有事	52,655	54,562	66,817	68,352		R 8 有事
		47,737						—
分 析	令和7年度は、家屋解体に伴う資料収集が多く、整理に手が回らない資料が増加した。博物館資料を継続的に収集・提供していくためには、専門的な知識を持つ学芸員の存在が不可欠である。また、収集した資料の情報を、効果的に市民へ発信していく方法を検討していく必要がある							
課 題 及 び 改 善 点	継続して調査し公開につなげていくため、調査に必要な学芸員の確保・育成が必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	各世代向けの図書資料の充実を図り、提供していくことで地域の課題解決を支援していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【各年代向けの資料について】 ○児童向け 小学校の授業の内容に沿った図書や課題図書の購入に努めた。 ○一般向け 購入のほか、市民からのリクエストに応えるため、相互貸借制度も活用し、提供に努めた。 購入点数 5,136 冊、借用件数 4,514 点							
指標及び説明	【指標】 図書館資料の所蔵点数					【説明】 図書館資料の所蔵点数により、資料の収集・提供の充実を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	点	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		579,430	平時	平時	平時	平時		600,000
		R 2 有事	587,302	583,599	583,362	581,931		R 8 有事
		582,693						600,000
分 析	所蔵点数については、適切な選書により新刊及び寄贈資料からの受入れを行ったが、価値不要資料の除籍を行ったため、蔵書点数が減少した。所蔵のない資料は県内図書館から借用し、利用者への提供に努めた。							
課 題 及 び 改 善 点	子どもの読書推進のための児童書や調べ学習用の図書を購入するとともに、資料の適切な除籍を行い、資料保存スペースを確保する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	住民の暮らしを豊かにするための図書や地域を活性化するための資料等の充実を図り、その利用を推進します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地域を活性化するために、9地区センターだより、掲示板やSNS等様々なメディアを通じて地域情報を発信した。							
指標及び説明	【指標】 9館の地区センターだよりの発行回数					【説明】 地区センターだより（ホームページへの掲載含む）で判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		156	平時	平時	平時	平時		108
		R 2 有事	156	108	108	108		R 8 有事
		156						108
分 析	所管する地区センターから、地域情報の発信をすることができた。一方、図書や資料の利用については、充実を図る必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	内容の充実や掲載情報の拡充に改善の余地がある。そのため、地区センターだよりの掲載内容見直し(図書・資料の充実、地域活動・団体情報等)を行い、情報周知の充実を図る。							

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	展示事業や出版物の刊行、ホームページやSNSでの発信等、多様な方法で提供するほか、レファレンスサービスなどによる学習相談に対応する。また、様々な情報を多様なメディアを用いて発信するとともに、指定管理者と連携した魅力的な情報発信により、誘客の促進を図ります。							
取組状況及び成果	博物館が運営するホームページやSNS等のほか、指定管理者による広報との連携により、博物館の展示や事業、資料の情報を効果的に発信し、市民の学習機会につながる情報提供を行うことができた。 ※令和7年度 博物館ホームページアクセス 346,149件。Xフォロワー 1,093件。フェイスブックフォロワー 507件。西洋館フェイスブックフォロワー 939件。指定管理者Xフォロワー 805件、インスタグラムフォロワー 315件、公式YouTubeチャンネル登録者 184件							
指標及び説明	【指標】ホームページアクセス件数、SNS登録者数				【説明】 情報の提供の浸透度合いを判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		356,926	平時	平時	平時	平時		380,000
		R 2 有事	371,372	353,885	335,096	350,002		R 8 有事
		305,458						320,000
分 析	情報発信の方法は、紙媒体のほか様々なデジタルツールが使用されている。各媒体の特性を研究し、情報提供の対象に合わせた発信を行うことで、届けたい方に届けられようにする必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	情報が流れ去っていく SNS とは別に、必要な情報にたどり着きやすいホームページは重要であり、次期情報システムでも、より伝わりやすく更新しやすい仕組みを検討する必要がある。							

【第5期大田区市民教育推進計画（平成27年度）】12月

主 な 取 組		社会教育に関する情報の提供					担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等、さまざまな方法により市民に、正確かつ迅速に伝えることに取り組む。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【図書館ホームページについて】 ○図書館開館 40 周年記念事業のバナーを設定したり、事業の案内を掲載したりするなどして、利用促進に努めた。 【図書館だよりについて】 ○図書館員が薦める一般書及び児童書の紹介を掲載し、利用促進に努めた。 【広報いるまについて】 ○毎月のカレンダーや「あつまれ！いるまぐみ」に図書館情報を掲載し、資料だけでなく、イベント情報の周知に努めた。 【図書館公式 LINE について】 ○図書館新規登録者にチラシを配布したりして、LINE 登録の増加に努めた。 LINE 新規登録数 264 人 【図書館開館 40 周年記念事業の実施】 ○「写真展 図書館今昔物語」や「みんなでモザイクアート」等の事業を実施し、プレスリリース等することで、図書館のことを広く市民に周知する機会を創出した。							
指標及び説明	【指標】 図書館ホームページへのアクセス数					【説明】 図書館ホームページへのアクセス数により、社会教育に関する情報提供の浸透度合いを判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		旧システムの ため不明	平時	平時	平時	平時		80,000
		R 2 有事	17,608	501,941	499,845	486,850		R 8 有事
		旧システムの ため不明	(1月～3月)					80,000
分 析	ホームページは、開設当初からは落ち着きを見せておりアクセス数が減少したものの、図書館公式LINEアプリの利用数は増加している。利用者のニーズに合わせたサービスが展開されていることが伺える。							
課 題 及 び 改 善 点	図書館ホームページについて、今後とも、最新情報を掲載し、利用者に様々な情報を周知していくことでアクセス数を増加させる。また、図書館公式LINEアプリのさらなる周知にも努める。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	講座・イベント情報及びサークルや地域活動団体に関する情報を地区センターだより、SNS、掲示板等、さまざまな方法により市民に提供します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地区センター（公民館）だより、掲示板やSNS等、様々なメディアを通じて学習情報を発信した。							
指標及び説明	【指標】ホームページへのアクセス件数				【説明】社会教育に関する情報の情報提供の浸透度合いを判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		583,754	平時	平時	平時	平時		632,000
		R2有事						R8有事
		511,794	562,671	615,790	670,467	686,020		592,000
分 析	ホームページへのアクセス件数は令和6年度比で約2%増加していることから、インターネットによる情報の取得が進んでいる。							
課 題 及 び 改 善 点	インターネットによる情報取得が進む一方で、紙媒体を中心に情報を得る市民の状況に合わせたの情報提供のあり方を確保する必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	講座・イベント情報、施設の自然情報等について、小中学校等へのチラシやポスターの配布、SNS等で、市民に提供していきます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	SNS及び市公式ホームページの更新頻度を上げた。最新の情報を提供することができた。							
指標及び説明	【指標】年間来所者数				【説明】利用者の変化をPR効果と捉える			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		25,490	平時	平時	平時	平時		38,000
		R2有事						R8有事
		7,625	16,000	21,176	25,248	24,131		9,000
分 析	事業情報を市公式ホームページに掲載、市公式SNSや児童・生徒へタブレット配信及び、青少年活動センターSNSで参加者募集、事業報告、自然情報を配信するなど、PRに努めたことにより、事業参加者は増加したものの、来館者は減少している。（施設開放利用者の減少）							
課 題 及 び 改 善 点	情報提供のための手法の調整・検討、効果的な情報発信に取り組む。わかりやすいホームページの作成に取り組む。							

施 策	(1) 社会教育事業の充実			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学習の機会提供の充実	博物館	A	A
		図書館	B	
		公民館	A	
	資料の収集・提供	博物館	A	
		図書館	A	
		公民館	A	
	社会教育に関する情報の提供	博物館	B	
		図書館	B	
		公民館	A	
青少年活動センター		A		
学 識 経 験 者 意 見 等				

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実					担当課	自己評価	
						図書館	A	
目 標	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を検討するとともに、「おはなし会」や「おたのしみ会」などの利用促進事業を通して、子育て、家庭教育力の向上を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【ブックスタート関連事業について】 ・「赤ちゃんサロン」での読み聞かせ等の実施 8 回 ・3～4 か月健診時にリーフレット「絵本のある子育て」の配布 【おはなし会の実施】 ・赤ちゃんおはなし会を含めた実施回数 346 回 【冬のおたのしみ会】 ・実施回数 4 回 【読み聞かせボランティア養成講座の実施】 ・実施回数 全 3 回 参加者 延べ 68 人 新規加入者 12 人							
指標及び説明	【指標】 子育て・家庭教育事業の実施回数			【説明】 子育てや家庭教育を支援する事業（おはなし会）の実施数により、支援の充実度を判断する。				
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		349	平時	平時	平時	平時		350
		R 2 有事	230	284	302	346		R 8 有事
		72						80
分 析	実施回数が前年度より増加したことの要因として、金子分館のおはなし会が再開した（令和 6 年度は 6 ～ 8 月まで金子地区センター改修工事のため休館していた）ことが挙げられる。なお、本館の「赤ちゃんおはなし会」が定着してきたことなどにより、参加人数も増加している。 また、「読み聞かせボランティア養成講座」を開催したことにより、新たなボランティアが入会し、おはなし会の活性化にもつながった。							
課 題 及 び 改 善 点	「おはなし会」参加者のさらなる増加に努めるとともに、読み聞かせ技術の向上を目的とした読み聞かせボランティアの育成を図り、ひいては乳幼児の親を支援する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	地域ぐるみで子どもを育てる地域づくりを目指して、関係機関・団体等との連携による子育て広場事業、家庭教育学級を開催します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	子育て関連事業、家庭教育支援事業を関係機関、団体等の連携により実施した。							
指標及び説明	【指標】 子ども・子育て支援事業の数				【説明】 事業数により支援の充実度を判断			
指標の推移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		5	平時	平時	平時	平時		30
		R 2 有事	27	27	32	54		R 8 有事
		0						25
分 析	公民館基本計画で「地域ぐるみの子ども・子育て支援の促進」を公民館基本計画の重点施策に位置付けたことにより、子ども・子育て支援事業を各地区センターで実施できた。							
課 題 及 び 改 善 点	事業数の確保に加え、参加者のニーズに即した内容となっているか等、事業の質の面で改善の余地がある。そのため、関係機関・団体等との連携を継続しつつ、参加者アンケート等によりニーズを把握し、対象・テーマ・実施方法を見直すことで事業内容の充実を図る。							

施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目 標	乳幼児と保護者を対象にした自然体験事業「おやこ森あそび」を実施し、自然の中で親子同士の交流や自然遊びを行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果	10回開催。リピーターも多かったが参加者は減少した。							
指標及び説明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数			
指標の推移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		313	平時	平時	平時	平時		300
		R 2 有事	200	101	172	154		R 8 有事
		50						0
分 析	当初の予定通り、自然体験事業を計画的に開催したこと及び、ポスター掲示やホームページ、SNS等を活用し、PRに努めたが、参加者は18名減少した。外遊びのため、雨天時などは参加者が少ないこともある。							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラム開発とPR改善を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	B
目 標	P T A活動の活性化を図るため、家庭教育学級の企画運営、P T A広報紙発行の支援を行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果	家庭教育学級を実施に向けた支援を行ったが、昨年度より実施回数が減少した。							
指標及び説明	【指標】 家庭教育学級実施回数				【説明】 家庭教育学級を実施した回数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0	平時	平時	平時	平時		78
		R 2 有事	66	67	56	52		R 8 有事
		33						52
分 析	昨年度と比較して実施回数は減少したものの、多様な方法で家庭教育学級を実施したことにより、参加者数は増加している。							
課 題 及 び 改 善 点	共働き家庭の増加等により、家庭教育学級の運営を担う役員・組織の確保が難しく、企画・運営の負担が大きいことから、実施回数の確保が課題となっている。今後、講座型の家庭教育学級に代わり、家庭でできる取組みをより進めるとともに、SNS 等を活用した連絡・周知の効率化により運営負担を軽減することで、継続的な実施につなげる。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	親子が一緒に学ぶことができる体験事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	親子が一緒に学ぶことができる体験事業を実施したことにより、子育て、家庭教育の充実を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】体験事業の数				【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		9	平時	平時	平時	平時		9
		R 2 有事	7	7	9	7		R 8 有事
		5						7
分 析	公民館基本計画で「子育て・家庭教育支援事業」を重点施策に位置付けているものの、親子体験事業の実施数は昨年度より減少した。							
課 題 及 び 改 善 点	公民館によって事業の実施状況に差があり、未実施の公民館があることから、計画的な事業実施が十分に図れていない。未実施館を中心に、実施に向けた企画検討を行うとともに、実施事例の共有や共催先(関係団体等)の確保により、各館での実施につなげる。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実	担当課	自己評価					
		青少年活動センター	C					
目 標	自然体験等の多様な親子体験事業を実施し、共同作業により親子の一体感を高め、自らの子育ての振り返りや親子同士の交流を促進します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	親子体験事業を2事業4回開催した。自然やキャンプの楽しさを親子で学ぶ機会となった。							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数		【説明】事業実施による支援数					
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値	目標値				
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		0	平時	平時	平時	平時		300
		R2有事						R8有事
		0	0	37	68	49		0
分 析	当日欠席が数組あったため、参加者前年度比 26.9%減となり親子体験事業としての実績値としては減少した。この他に、小中学生対象だが保護者参加可能としている事業も開催している。							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	専門性を生かし、ボランティアとの協働により、親子で参加できる催しや地域の特性を生かした事業を実施する。また、学校と連携して博物館授業の充実を図るほか、「むかしのくらしと道具展」等では、地域の子どもたちと主体的に関われる事業を博物館ボランティア等と協働で実施する。							
取組状況及び成果	市内外小中学校等延べ55校3,850人に対して、博物館授業（オンライン授業含む）を実施。ボランティアや地域と連携した事業を11件実施。学校やボランティアとの連携を通して、地域のなかの博物館としての取組みを深めることができた。							
指標及び説明	【指標】学校・家庭等と連携した事業数						【説明】	
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業数	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		69	平時	平時	平時	平時		70
		R 2 有事	57	66	73	66		R 8 有事
		2						20
分 析	オンライン授業では、実物資料に触れることはできないが、移動を伴わずに博物館授業を受けることができ、机上に教科書などを広げて参照できるなど、オンラインならではの利点がある。より効果的な手法を研究し、授業の充実につなげていく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	オンライン授業は、運営面を含めてより効果的な手法を検討していく必要がある。またボランティアとの連携においては、高齢化、メンバー固定化による人員減少が課題となっている。							

※サイエンスバー、機織、自然散歩、茶体験（ボラ対応）、マユダマ飾り、たいけんコーナー（総体として）1、レコード（総体として）1、双子織講座（総体として）1、お茶大学（総体として）1、盆踊り1、原画展1

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組		学校・家庭・地域の連携の促進					担当課	自己評価	
							図書館	A	
目 標		関連する市民団体や他の行政機関と連携・協力した事業を実施し、読書活動の推進を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果		【小学校との連携事業】 ・図書館利用教室 小学2年生対象 実施数16校 1,002人 ・図書館施設見学 小学3年生対象 実施校12校 794人 ・学校図書館ボランティア研修会 全2回 参加者40人 ・小・中学生向きのブックガイド「あれこれブックガイド」の発行及び連絡アプリ「すぐーる」での配信 小学生6,246人、中学生3,302人 ・小学生を対象とした「読書ラリー」の実施 参加者延べ757人 ・移動図書館車の小学校への定期的な巡回 8校 【その他の施設との連携】 ・学童保育室や学校等への配本サービス 定期団体36団体 22,072冊 ・市内高等学校との連携会議の実施 1回 ・関係各課所との協力事業 「平和祈念資料展」「入間市自然展」等 ・いるま生涯学習出前講座「読み聞かせ講座」の実施 5回							
指標及び説明		【指標】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数				【説明】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数により、連携の度合いを判断する。 (図書館利用教室及び図書館施設見学)			
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		校	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
			31	平時	平時	平時	平時		32
			R2有事	32	31	30	28		R8有事
	0						-		
分 析		小学校の日程や交通手段の都合上、実施校数が減少してしまったが、小学校と連携し、読書活動の推進を図ることができた。							
課 題 及 び 改 善 点		施設見学に参加できない学校及び児童に対し、図書館公式ホームページでの動画「図書館にこう」を案内するなどして、図書館に対する理解を深めてもらうよう努める。また、移動図書館車の巡回を通じて、読書活動の推進を図る。							

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	地域との連携による子どもたちを中心とした世代間交流会事業、地域交流事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	住民や団体と共催等で世代間交流事業、地域交流事業等を実施することで、地域学校協働活動につながった。							
指標及び説明	【指標】世代間交流事業、地域交流事業等の数					【説明】事業数により充実度を判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		8	平時	平時	平時	平時		9
		R 2 有事	7	7	5	17		R 8 有事
		1						7
分 析	世代間交流事業及び地域交流事業等の重要性を社会教育課・公民館・地域振興課で共有し、事業の検討等を行ったことにより、昨年度比で実施数が増加した。							
課 題 及 び 改 善 点	事業数は増加したものの、内容の多様化や継続的な実施に向けた企画・協力体制の強化が課題である。そのため、地域の関係団体等と協働し、既存事業の見直しを行うとともに、新たな交流事業の企画を進め、事業内容の充実を図ることが求められる。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							児童センター	A
目 標	生活課題や地域課題解決のための市民の主体的な学習活動や交流活動を促進するため、「個人の要望」に基づく学びとともに、「社会の要請」を踏まえた市民同士の学び合いの充実を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地域との連携を図るため、児童の健全育成を推進するボランティア会等と協働し、季節行事やクラブ・教室などを行っている。また、市内の様々な場所で子どもの遊ぶ環境を確保し、遊びを通じた活動を促進するため、移動児童館や出張児童館を行っている。そして、遊び道具を積載するプレーカーを活用し、アウトリーチ事業を実施している。 ・移動（出張）児童館：プレーカーを活用し、市内の公民館や近隣の公園に出張し、地域の子どもたちに児童センターの事業の一部を提供する。25回（1729人） ・出張天体観望会：近隣の施設や小学校に出張し、望遠鏡を使って季節の星や惑星・月を観測する。6回（126人） ・プレーカー貸出し事業：遊びを通じた活動等を行う市民団体を対象にプレーカーの貸し出しを行っている。11回							
指標及び説明	【指標】設定困難					【説明】-		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	-	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8 -	R 8 平時
		-						-
		R 2 有事	-	-	-	-	-	R 8 有事
		-						-
分 析	ボランティア会との協働事業はすべて実施することができた。また、地域のNPOや企業などとも連携し新たな事業を実施することができた。 プレーカーについても、出張児童館などを通じて、各地域に出向き遊びを展開することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	出張児童館については、今後、効率的な人員配置と事業の見直しを図り、より拡充していきたい。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目 標	青少年関係団体や地域の老人クラブ等と連携し、小学生を対象とした体験事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	ネイチャークラフトたいけん、ミニ門松づくり、みんなでたき火デーを実施。							
指標及び説明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		247	平時	平時	平時	平時		250
		R 2 有事	150	54	101	181		R 8 有事
		0						0
分 析	小学生対象の事業のほか、誰でも気軽に参加できる事業も取り入れたことで、参加者が80名増加した。(前年度比 79.2%増)							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。 青少年活動センターの事業ではないが、市内外の学校が校外学習で施設を利用する際に、自然体験プログラムの協力をしている。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	団体支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	C
目 標	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じたことにより、子育て・家庭教育の充実を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】子育て・家庭教育支援事業の数				【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		34	平時	平時	平時	平時		50
		R 2 有事	48	48	32	24		R 8 有事
		15						40
分 析	少子化及び子ども関連の事業の多様化により子育て・家庭教育支援事業の数は、減少傾向である。							
課 題 及 び 改 善 点	子育てサークルへの活動支援は実施しているものの、子育て・家庭教育支援事業の実施回数が減少していることから、こども支援課や地域保健課等と連携し、共催による事業実施を進めるとともに、既存事業の見直しにより実施回数の確保を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組		団体支援の充実						担当課	自己評価
								青少年活動センター	C
目 標		青少年健全育成を支援する団体への補助金交付や行政との協働事業等を通して活動の支援を行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果		1 団体（入間市子ども会育成会連絡協議会）に補助金を交付							
指標及び説明		【指標】 会員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		1,231	平時	平時	平時	平時		800	
		R 2 有事	811	706	399	367		R 8 有事	
		966						800	
分 析		少子化による活動の停滞化に対応し、事業実施を担保できたものの、子ども会への加入者は減少している。小学生数の減少及び単位子ども会の解散により子ども会がない地区が増えて いることも会員数が減少している要因である。							
課 題 及 び 改 善 点		事業実施の継続性を確保し、活動の活性化を図ることが必要。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

施 策	(2) 家庭・地域の教育力の向上			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	乳幼児の親を支援する事業の充実	図書館	A	B
		公民館	A	
		青少年活動センター	B	
	小中学校の親を支援する事業の充実	社会教育課	B	
		公民館	A	
		青少年活動センター	C	
	学校・家庭・地域の連携の促進	博物館	A	
		図書館	A	
		公民館	B	
		児童センター	A	
		青少年活動センター	C	
	団体支援の充実	公民館	B	
青少年活動センター		C		
学 識 経 験 者 意 見 等				

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							青少年課	B
目 標	市民や地域との協働により、青少年の自己肯定感・自己有用感※及び社会性・創造性を育み、社会を生き抜くための力の習得を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	参加を希望する児童の落選者数を削減する。							
指標及び説明	【指標】 落選率				【説明】 応募者総数からの落選者数の割合			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時	平時	平時		-
		R 2 有事	10.46	3.9	8.6	0.0		R 8 有事
		-						-
分 析	近年の参加者数は延べ450名～500名台で推移している。今年度は、過年度に落選者が多かった小学校を中心に定員数やコース数の調整を行った結果、希望した全ての抽選に漏れた児童（落選者）がゼロだった。 第1希望から第4希望まで選択できる仕組みにより、いずれかのコースには必ず参加できる体制を整えるとともに、定員に満たないコースについては各校で再募集を行うなど、より多くの児童が体験活動に参加できるよう調整を図っている。							
課 題 及 び 改 善 点	落選者を出さないよう前学期の応募状況を見ながらコース設定数と定員数を調整する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	サイエンスパーク、夏休みこどもお茶大学、むかしのくらしと道具展等、博物館の専門性を生かした体験事業を実施する。							
取組状況及び成果	指定管理者と連携したアリットお茶大学事業の充実を図るとともに、研究生コースの復活や、従来の体験活動も継続して実施することで、多様なプログラムの提供につなげることができた。なお、降雪で一部事業は中止となった。							
指標及び説明	【指標】 体験事業の実施数				【説明】 体験活動の機会の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	事業数	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		17	平時	平時	平時	平時		15
		R 2 有事	12	21	25	23		R 8 有事
		2						2
分 析	博物館の専門性を活かし、こどもから大人まで参加できる幅広い事業を実施することで、体験活動の機会の提供につながっている。しかし、参加者からは好評であったが、定員の関係で希望する参加者を受け入れられない事業もある。							
課 題 及 び 改 善 点	市民の要望に応えるために事業数を増やしたいが、現在の職員体制でこれ以上増加させることは困難な状況である。							

※サイエンスパーク、機織、自然散歩、茶体験、たいけんコーナー、双子織講座、こどもお茶大学、盆踊り、狭山茶の日茶会。お茶大学13講座+研究生コース1

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組		体験活動の機会提供						担当課		自己評価	
								公民館		A	
目 標		青少年の豊かな心を育むために、創造性や協調性を育む体験事業、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施します。									
取 組 状 況 及 び 成 果		公民館事業として、天体観測会や書き初め教室等を実施した。									
指標及び説明		【指標】体験事業の実施数					【説明】実施数により、体験活動の機会提供の充実度を判断				
指 標 の 推 移		単位	現状値		実 績 値					目標値	
		件	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8	R 8 平時		
			35						50		
			R 2 有事	41	41	30	47		R 8 有事		
			5						40		
分 析		公民館基本計画で「地域活動の促進」を重点施策に位置付けたことにより、青少年の体験事業を実施した。									
課 題 及 び 改 善 点		体験事業は実施しているものの、青少年が地域活動に参画し、社会奉仕を体験する機会の確保が十分とはいえない。そのため、各種公民館事業の運営に青少年ボランティアが参加できる場面を設定するなど、社会奉仕体験につながる仕組みを取り入れ、参加機会の拡充を図る。									

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	小学生を対象にした多様な分野の体験事業、主に中学生を対象にした企画運営体験事業等、発達段階に応じた体験事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	七宝焼体験他芸術・文化・生活体験事業等を実施。							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		779	平時	平時	平時	平時		1,475
		R 2 有事	370	1,385	1,915	2,165		R 8 有事
		36						0
分 析	企画運営事業を 1 事業増加するなどより多くの方に参加機会を提供した結果、参加者が 250 名増加した（前年度比 13.1%増）。							
課 題 及 び 改 善 点	事業内容の充実。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	青少年が学習等に利用できる「空き室開放事業」を通年で実施、春・夏休みには、「子ども居場所づくり事業」を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	春・夏休み「子ども居場所づくり事業」では、一部の公民館において地域の方による見守り・協力の仕組みを構築できた。							
指標及び説明	【指標】 こども居場所づくり事業の参加人数				【説明】 参加人数により居場所づくり事業の充実度を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値		実 績 値				目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		980	平時	平時	平時	平時		1,200
		R 2 有事	1,070	1,070	1,477	2,535		R 8 有事
		335						600
分 析	子どもを視点とした事業展開に配慮したことにより、参加者の増加につなげるとともに、地域の方に・協力の仕組みを構築できた。							
課 題 及 び 改 善 点	分館で事業を実施する際は、所管する地区センター職員の派遣が必要であり、本館と比較して参加人数が少ない傾向にある。今後、職員の配置・派遣計画を含めた実施体制を整える。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	青少年が気軽に利用できる環境を整えるとともに、青少年向けの資料の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【環境整備について】 ・YAフリーボードの設置 ・試験前臨時学習室の実施 【資料の充実について】 ・ティーンズ向け資料蔵書数 14,386 点							
指標及び説明	【指標】ティーンズ書の蔵書数					【説明】事業の蔵書数により、居場所づくりの充実度を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	冊	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		12,927	平時	平時	平時	平時		16,000
		R 2 有事	14,921	13,361	13,363	14,386		R 8 有事
		13,160						16,000
分 析	様々な分野のティーンズ書を購入することができた。また、図書館がおすすめするティーンズ書を紹介する「あれこれブックガイド」を作成し、中学校や市公式LINEで発信するなど、広報にも努めた。							
課 題 及 び 改 善 点	青少年向けの資料の充実は図れたが、居場所づくり事業を実施することができなかったの で、検討する必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	青少年がスタッフや友達と交流しながら自由にのびのび過ごす「むささびひろば」を実施します。また、青少年関係団体との協働により、中高生のための居場所づくりを展開します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	森あそびクラブ、むささび食堂、施設開放を実施。							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		3,747	平時	平時	平時	平時		2,030
		R 2 有事	1,000	1,888	3,960	2,937		R 8 有事
		521						263
分 析	令和6年度から「むささびひろば」を「森あそびクラブ」とし、年間を通じて活動する形態としている。定員を15名としているため、実績値としての伸びはないが、参加者は定着しつつある。施設開放で来館する児童、生徒も昨年度より減少しているが、新しく来館する児童も増えている。							
課 題 及 び 改 善 点	内容の充実。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	地域の青少年関係団体と関係機関等との連携を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	入間市中央少年少女合唱団との共催により「ジュニア合唱教室」を実施した。							
指標及び説明	【指標】連携事業の実施数				【説明】実施数により支援の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1	平時	平時	平時	平時		2
		R 2 有事	1	1	1	1		R 8 有事
		1						1
分 析	市と団体で連携して事業を実施したことにより、既存団体において会員数の増加が見られた。							
課 題 及 び 改 善 点	団体数が減少傾向にあるため、連携先の確保や活動の裾野拡大が課題である。そのため、活動の場の提供、関係機関とのマッチング、周知支援等を進める。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組		青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
								青少年活動センター	A
目 標		青少年団体への補助金交付、青少年活動者研修の実施、協働による青少年事業の実施等、多様な支援に取り組みます。							
取 組 状 況 及 び 成 果		社会教育団体への補助金交付 2 団体（青少年相談員協議会・BSGS連絡協議会）に交付							
指標及び説明		【指標】 構成員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		203	平時	平時	平時	平時		200	
		R 2 有事	202	210	224	219		R 8 有事	
		209						200	
分 析		BSGS連絡協議会の加入団体が 1 団体減少したが、構成員の減少は 5 名にとどまり、活動の継続性が保たれている。青少年相談員は令和 7 年度は埼玉県で 3 番目に多い委嘱数である。							
課 題 及 び 改 善 点		少子化等による全体対象者数の減少への対応と活動の活性化。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P28

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							博物館	B
目 標	高校生・大学生がボランティアとして活躍できるイベントを実施し、事業スタッフや青少年リーダーの育成を図る。							
取組状況及び成果	自発的に事業へのボランティアを希望した高校生が協力してくれた。							
指標及び説明	【指標】 事業への参加人数				【説明】 ボランティア等の育成状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8平時
		1	平時	平時	平時	平時		5
		R 2有事	5	5	4	4		R 8有事
		0						0
分 析	現在の博物館事業の中で、青少年がボランティアとして活動できる事業が少ない。							
課 題 及 び 改 善 点	指定管理者の事業等も含めて、青少年が活躍できる事業を検討する必要がある。引き続き近隣の高等学校との連携にも取り組んでいく。							

※機織り体験3 回、たいけんコーナー1 回

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							公民館	C
目 標	子ども会のジュニアリーダー養成事業等を実施し、ボランティアの育成を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	金子公民館でいるまの男塾、金子ジュニアリーダー養成講座を実施した。							
指標及び説明	【指標】 ボランティア体験事業の参加人数				【説明】 参加人数により、地域のボランティアや青年リーダー育成の進行度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		83	平時	平時	平時	平時		250
		R 2 有事	246	246	109	220		R 8 有事
		25						250
分 析	少子化により事業の対象となる世代が減少している影響を受けている。							
課 題 及 び 改 善 点	子ども会が消滅していく中で、スタッフ、リーダー養成事業の実施そのものが困難になっている。今後の事業の在り方を検討していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課 児童センター	自己評価 A
目 標	市民や地域との協働により、青少年の自己肯定感・自己有用感※及び社会性・創造性を育み、社会を生き抜くための力の習得を図ります。							
取組状況及び成果	児童の自主的な意見を運営に取り入れ、児童センターの運営や活動に生かすため、児童が意見を述べる場の提供を目的に、こども運営ボランティア事業を開催している。また、ボランティアの育成を図ることを目的に、長期休業期間中において中学生ボランティアを募集している。							
指標及び説明	【指標】 ボランティア体験事業、リーダー養成事業の参加人数				【説明】 事業参加による人材育成を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		67	平時	平時	平時	平時		150
		R 2 有事	220	305	438	374		R 8 有事
		34						50
分 析	こども運営ボランティアは近隣の小学生の児童が多いが、広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動に努め、参加人数を増やすことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後もより広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動などに努めたい。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P28

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目 標	中学生を主対象にした企画運営体験を実施し、高校生スタッフを経て、将来的な青年リーダーへと長期的な育成を行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果	青少年企画、体験事業の実施、青少年活動センターフェスティバル（青少年企画・体験事業）の実施。							
指標及び説明	【指標】参加者数				【説明】事業参加による人材育成を図る			
指標の推移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		114	平時	平時	平時	平時		100
		R2有事						R8有事
		0	0	11	24	27		0
分 析	春・夏のフェスティバル事業で青少年スタッフを公募し、イベントの一部企画運営を委ねる取り組みをしている。自分たちが考えたコーナーで多くの来場者に楽しんでもらうことで参加者自身が達成感を得られる機会となっている。リピーターが増えており、青少年の事業への参画が進んでいる。参加者は前年度比3名増加、リピーターも多く、継続参加を促すことで将来的なリーダーの育成につながる事が期待される。							
課 題 及 び 改 善 点	子ども会等が衰退する中でスタッフ、リーダーの養成そのものが困難になっているため、関係団体と調整を図りながら、担い手養成のための事業を検討し、実施に向けて取り組む。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【政策】第1項 社会教育の充実				
施 策		(3) 青少年教育の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	体験活動の機会提供	青少年課	B	B
		博物館	A	
		公民館	B	
		青少年活動センター	A	
	居場所づくりの充実	公民館	A	
		図書館	A	
		青少年活動センター	A	
	青少年関係団体の支援の充実	公民館	B	
		青少年活動センター	A	
	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成	博物館	C	
		公民館	C	
		児童センター	A	
		青少年活動センター	B	
学 識 経 験 者 意 見 等				

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 29

主 な 取 組		指定文化財等の保護						担当課	自己評価
								博物館	A
目 標	調査研究を通じて、貴重な文化財を指定文化財等に指定するとともに、保存と活用に取り組む。								
取組状況及び成果	市指定文化財については、新規指定を1件、追加指定を1件行った。また、国登録文化財（建造物）では、昨年度意見具申を行った1件が登録となり、さらに1件の意見具申を行っている。指定を受けた文化財の展示を行うことで、市民の文化財保護意識の啓発につなげることができた。なお、保存が必要な事業に対しては、補助金を活用することで保存を図った。								
指標及び説明	【指標】 指定文化財等の件数					【説明】 指定文化財の件数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		78	平時	平時	平時	平時		84	
		R 2 有事	79	80	81	83		R 8 有事	
		79						-	
分 析	指定文化財の新規指定や国登録文化財の登録を通して、文化財を使った地域文化の発信や地域との連携強化につながっている。また、補助金については、国の補助金を活用することで、所有者等の負担軽減を図ることができている。								
課 題 及 び 改 善 点	文化財保護審議委員等の有識者や大学等と連携した調査・研究により文化財の価値を掘り起こし、指定文化財に指定して保護するとともに、情報として発信していくことで、市民の文化財保護意識の向上につなげていく必要がある。								

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 29

主 な 取 組		文化財保護啓発事業の実施						担当課	自己評価
								博物館	B
目 標		各地区に残る身近な文化財を生かし、市民に郷土の魅力を再認識してもらう事業を実施していく。							
取組状況及び成果		今年度新たに指定された文化財及び文化財保護協調週間に合わせて博物館のエントランス展示を実施した。文化財啓発に係る講座等を4回実施した。延べ参加者は61名だった。							
指標及び説明		【指標】文化財保護啓発事業への参加人数				【説明】市民の文化財保護意識の高まりを判断			
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			149	平時	平時	平時	平時		250
			R 2 有事	132	1,066	82	61		R 8 有事
			95						120
分 析		貴重な文化財を実際に見てもらう機会を作ること、多くの人に文化財の魅力を伝えることができている。なお、参加型の事業も必要だが、HPやSNS等の媒体を通じた情報発信の充実も必要である。							
課 題 及 び 改 善 点		参加型の事業に加え、SNSやHPでの発信を充実させるなど、直接参加できない層にも届くような啓発方法の多角化に取り組んでいく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

【第5期】大田区教育振興基本計画の掲載ページ 12

主 な 取 組	近代化遺産の保存・活用	担当課	自己評価					
		博物館	A					
目 標	旧石川組製糸西洋館・旧黒須銀行の計画的な修繕による保存を図るとともに、魅力ある活用事業を実施し、市民文化の向上や観光の振興につなげる。また、財源の確保にも取り組む。							
取組状況及び成果	西洋館では、一般公開（年46日）のほか、コンサートや講演会等のイベントを5事業開催することで、文化財としての重要性や魅力を発信し、市民の保護意識の向上につなげることができた。なお、運営に当たり市民ボランティア等の協力により、来館者の満足度につながっている。また、旧黒須銀行は、復元修理工事中であるが、修理に使用する瓦への記名会の開催や、工事の状況を逐次発信していくことで、活用に向けた機運醸成を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】西洋館・旧黒須銀行の来館者数 【説明】近代化遺産の活用状況を判断							
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		4,656	平時	平時	平時	平時		5,000
		R 2 有事	6,437	4,313	3,823	3,676		R 8 有事
		1,610						2,000
分 析	西洋館では、一般公開やイベント、撮影への貸出等の活用を通して、継続的に建物の魅力を伝えることができ、団体見学も増えている。また、旧黒須銀行については、復元修理工事「揚屋工事」や「瓦記名会」が新聞やテレビ報道により広く周知することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	効果的な情報の発信や魅力的な事業の実施を通じて、実際に来館してもらう機会につなげていく必要がある。旧黒須銀行の工事完了後の活用に向けての機運を高めていく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	埋蔵文化財の保護							担当課	自己評価
								博物館	A
目 標	試掘・発掘調査を実施して埋蔵文化財の適切な記録、保存を図るとともに、出土品等を活用した事業を実施していく。								
取組状況及び成果	埋蔵文化財包蔵地において開発に先立つ試掘調査を 8 件実施し、調査結果をまとめた報告書を刊行することで、埋蔵文化財の適切な保護を図ることができた。								
指標及び説明	【指標】埋蔵文化財の報告書刊行数					【説明】埋蔵文化財の適切な保存状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	回（累計）	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		40	平時	平時	平時	平時		49	
		R 2 有事	43	44	45	46		R 8 有事	
		41						－	
分 析	開発原因者との緊密な調整、調査への円滑な対応により、埋蔵文化財包蔵地における全ての開発行為に対して調査を実施し、適切に記録保存を図ることができている。また、出土品の学校授業への貸出しや最新出土品の展示により、身近な地域の歴史や埋蔵文化財調査への関心につながった。								
課 題 及 び 改善点	発掘調査に対応できる調査体制を整備するとともに、調査により新しく分かった情報を継続的に発信していく取り組みが必要である。出土品を授業用教材として活用しやすくする工夫が必要である。								

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 29

主 な 取 組	伝統文化活動団体の支援の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	A
目 標	地域の文化を守り育むために、博物館と連携しながら地域の関係団体等との協働による事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	入間市郷土芸能連合会のうち、博物館が管轄する指定無形民俗文化財以外の郷土芸能 10 団体へ助成金（1 団体 15,000 円）を分配した。 また、3 月に桜文化フェスのワークショップを開催したことにより、子どもたちが伝統文化に触れる機会を作ることができた。							
指標及び説明	【指標】 会員数合計				【説明】 10 団体の会員数の合計			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		400	平時	平時	平時	平時		400
		R 2 有事	391	391	358	376		R 8 有事
		396						400
分 析	団体構成員の高齢化が進んでいるが、様々な体験事業を実施したことにより、令和7年度は、構成員が微増した。							
課 題 及 び 改 善 点	団体構成員の高齢化が進む中、後継者となる人材の育成が進んでいない。 幅広い世代が伝統文化への興味・関心を高める事業を実施するなどの取り組みが必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

施 策	(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	指定文化財等の保護	博物館	A	A
	文化財保護啓発事業の実施	博物館	B	
	近代化遺産の保存・活用	博物館	A	
	埋蔵文化財の保護	博物館	A	
	伝統文化活動団体の支援の充実	社会教育課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	「指定文化財等の保護」「文化財保護啓発事業の実施」「近代化遺産の保存・活用」「埋蔵文化財の保護」「伝統文化活動団体の支援の充実」に関して、「文化財保護啓発事業の実施」は、前年度に比べて参加人数が大幅に減少したため自己評価が「B」となっているものの、それ以外は「A」であり、全体として進捗が順調であることがうかがわれます。引き続き、市民が自分たちの住む市の文化財の価値を理解し、郷土の魅力を意識する事業の実施を期待します。社会教育課の事業に関しては、ぜひ伝統文化の継承の課題について小中学校と連携した事業を検討していただきたいと思います。			

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主 な 取 組	博物館施設の充実						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	施設の機能維持や、来館者の安心・安全と利便性の向上につながる設備について、計画的な修繕を行う。また、館庭については、「市民の心のよりどころ」となる場として、活用方法を検討し、利用促進に取り組んでいく。							
取組状況及び成果	経年劣化により更新が必要な設備については、優先順位をつけた修繕を行うことで、施設運営に影響が出ないようにした。また、関係課と調整し、屋上に太陽光パネルを設置する工事を実施するなど、環境負荷低減に向けた取組みを行った（本格稼働は令和8年度から）。							
指標及び説明	【指標】市民意識調査の満足度				【説明】市民意識調査の結果から判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	満足度	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0.197	平時	平時	平時	平時		0.210
		R 2 有事	0.218	－	0.200	－		R 8 有事
								0.180
分 析	市民が安全安心で快適に施設を利用するため、また博物館資料の適切な保管のために、計画的な修繕を実施していく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	経年劣化により不具合を生じる施設・設備が増加しており、現在の修繕料の予算では対応できない事例も発生している。							

主 な 取 組		図書館施設の充実						担当課	自己評価
								図書館	B
目 標		指定管理者及び各施設管理者と連携・協力して管理運営を行うとともに、十分な協議を行い、快適な読書環境の整備に努める。							
取 組 状 況 及 び 成 果		・ 指定管理者とは定期的に館運営会議等を行い、十分な協議のもと管理運営を行うことができた。また、各施設管理者とも連携・協力して、快適な読書環境の整備に努めた。 ・ 移動図書館車やまぼと号の音響設備を改修し、音楽を流すことで、市民にやまぼと号の来館を周知することができた。 ・ 西武分館では、証明器具のLED化を進めている。							
指標及び説明		【指標】 社会教育施設に関する市民満足度				【説明】 市民意識調査の結果から、施設やサービスの充実が図られているかを判断する。(施設の利用状況「利用している割合」)			
指 標 の 推 移		単位	現状値		実 績 値				目標値
		%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			42.0	平時	平時	平時	平時		45.0
			R 2 有事	37.9	-	34.1			R 8 有事
			-						30.0
分 析		利用している割合は、前回調査より減少したが、市内施設の利用状況では、「彩の森入間公園」「総合クリーンセンター」「地区センター・公民館」に次ぐ4位となっており、市民にとって図書館が生活圏の重要な知的拠点として認識されていることが伺える。							
課 題 及 び 改 善 点		安心安全な読書環境の整備のために、西武分館のエレベーター及び自動ドアの更新が必要である。特にエレベーターについては、2階会議室が選挙投票所及び災害避難所となることから早急な対応が必要である。また、藤沢分館では空調の更新及び本館、西武分館、藤沢分館の蛍光灯入手が困難であり、LED化が必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組	公民館施設の充実	担当課	自己評価					
		公民館	A					
目 標	老朽化が進む施設を計画的に改修・修繕するとともに、引き続き施設のバリアフリー化に取り組む。また、ユニバーサルデザインへの対応や多目的に利用できるオープンスペースの拡充など全般的な機能向上に努めます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	令和5年度から施設の管理が地域振興課になったが、照明器具交換修繕や電気設備工事などを実施した。							
指標及び説明	【指標】社会教育施設に対する市民満足度		【説明】市民意識調査の結果から判断					
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値	目標値				
	満足度	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0.291	平時	平時	平時	平時		0.320
		R 2 有事	0.297	0.297	0.329	0.329		R 8 有事
		—					0.300	
分 析	令和5年度から施設自体は地域振興課の管轄となったが、計画的に修繕及び工事を実施したため、目標を達成することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後、工事期間中の利用制限により、サークル活動や公民館事業の継続に影響が生じる可能性がある。そのため、地域振興課と工事計画・周知・代替会場の確保等について事前調整を行い、活動・事業の継続性を確保することに努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組		青少年活動センター施設の充実						担当課	自己評価	
								青少年活動センター	A	
目 標		緊急性の高いものから計画的に修繕を行っていきます。また、特色を生かし、活発で好奇心旺盛な子どもたちが気軽に来館していただけるような、安心・安全で、優しく快適な施設づくりに取り組んでいきます。さらに、青少年活動センター運営協力会会員との協働により、様々な利用者のニーズに即した魅力的な施設の整備に取り組んでいきます。								
取 組 状 況 及 び 成 果		緊急性の高いものから計画的に修繕を行った。ナラ枯れによる枯損木の伐採を行った。								
指標及び説明		【指標】 設定困難					【説明】 -			
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値					目標値	
		—	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
			—	平時	平時	平時	平時		—	
			R 2 有事	—	—	—	—		R 8 有事	
			—						—	
分 析		必要な修繕を適正に行うことにより、利用者の安全確保を徹底した。また、定期的に施設内の点検を行い、ナラ枯れが発生した枯損木等について、追加伐採など適正な措置を実施した。								
課 題 及 び 改 善 点		近年、ナラ枯れによる枯損危険木が多数発生している。定期点検を行うとともに、計画的な伐採等を行っていく								

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

施 策	(1) 施設の充実・最適化			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	博物館施設の充実	博物館	B	A
	図書館施設の充実	図書館	A	
	公民館施設の充実	公民館	A	
	青少年活動センター施設の充実	青少年活動センター	A	
学 識 経 験 者 等 意 見	各施設の市民の安全な利用を促進するために、引き続き計画的な修繕・維持管理等に勤めていただきたいと思います。とりわけ、文化財の保存や蔵書の保存管理など博物館や図書館の空調設備の整備は切実なため、適切な予算確保を本市に努めていただくことを期待します。			

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 1

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
取 組 状 況	市民が週1回以上、何らかのスポーツ・レクリエーションに関わり、継続的に実践するためのきっかけづくりとして、教室・大会等を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	近年は既存事業に関しては、コロナ前に人数が戻ってきているため、今後については、新規事業を実施しより多くの市民にスポーツを実践する機会を提供する。							
令 和 7 年 度 実 績	教室・大会の総参加者数が6,123人であった							
指 標 及 び 説 明	【指標】 市主催の教室・大会・イベントへの参加者数				【説明】 市主催の教室・大会・イベントへの参加者数により、市民のスポーツ・レクリエーションに対する関心度を判断するもの。			
	単位	現状値	実 績 値					目標値
指 標 の 推 移	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		7,732	平時	平時	平時	平時		9,870
		R 2 有事	5,319	7,934	8,850	6,123		R 8 有事
		1,610						1,880
自 己 評 価 の 主 な 理 由	令和7年度は雨天で中止した事業・廃止した事業もあり、参加者総数としては減少してしまったが、大きなイベントについては、前年よりも参加者が増加したため。							
課 題 及 び 改 善 点	大きな事業に関しては、コロナ前を上回る参加者となっているものもある。今後については、新規および既存イベントにて、参加者数が前年を上回るよう検討する。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 1

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーション事業の推進						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
取 組 状 況	健康増進を目的とした、ラジオ体操などの事業や、駅伝競走大会などの競技力向上及び目的達成度を確認する大会を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	新たなスポーツ事業を開催するだけでなく、その新たなスポーツが地域に根付くような環境づくりを検討する。							
令 和 7 年 度 実 績	スポーツ・レクリエーション事業・大会を14事業実施することができた。							
指 標 及 び 説 明	【【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事					R 8 有事	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	新たなスポーツが地域に根付く取組みとして、モルック大会やアーバンスポーツの大会・イベントを開催した。							
課 題 及 び 改 善 点	新たなスポーツを地域に根付かせるために、実施のきっかけとなるような取り組みを検討する。また市民のライフステージに合わせた取り組みを検討する							

【施策の体系】5 スポーツ・レクリエーション

【政策】第1項 生涯スポーツの充実

【施策】(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P32

主 な 取 組	関係団体との連携	担当課	自己評価					
		スポーツ推進課	A					
取 組 状 況	市民のスポーツ活動の充実を図るため、市スポーツ協会や市スポーツ推進委員協議会等と連携をとり、事業等を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	アーバンスポーツ・eスポーツを中心とした新たなスポーツが既存のスポーツと同等に地域に根付くよう関係団体と連携を図る。							
令 和 7 年 度 実 績	昨年度同様にアーバンスポーツやeスポーツを中心とした、新たなスポーツの教室や大会を実施することができた。またスポーツ推進委員協議会・モルックの市民団体と連携しモルック大会を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 設定困難		【説明】					
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値	目標値				
		R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
			平時	平時				
		R2有事						R8有事
自 己 評 価 の 主 な 理 由	今年度新たな取り組みとして市民団体と協力しモルック大会を盛大に開催することができたため。							
課 題 及 び 改 善 点	アーバンスポーツ・eスポーツ・モルックなど新たなスポーツが既存のスポーツと同等に地域に根付くよう関係団体と連携を図る。							

【施策の体系】5 スポーツ・レクリエーション

【政策】第1項 生涯スポーツの充実

【施策】(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P32

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーションの表彰						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
取 組 状 況	スポーツ振興を図るため、優秀選手や優秀団体の表彰や奨励を行っている。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	スポーツ協会に加盟していないスポーツに対して表彰をできるようにしたため、大会の規模やその競技でのフォーマットがわかりにくい大会なども上がってくるため判断が難しくなっている。スポーツ賞の権威が下がらないように対応する必要がある。							
令 和 7 年 度 実 績	スポーツ賞の受賞者が73名、奨励金の交付者（2月時点）が38件、98名であった。							
指 標 及 び 説 明	【指標】スポーツ・レクリエーション大会出場選手奨励金の件数					【説明】奨励金の申請件数により、市民の競技スポーツにおける活躍度を判断します。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		29	平時	平時	平時	平時		40
		R2有事	34	35	41	38		R8有事
		4						8
自 己 評 価 の 主 な 理 由	市内に在住・在勤・在学してる選手の成績に左右される指標であり今年度においては、スポーツ賞の表彰件数及び奨励金の交付者件数・人数が減少したため。							
課 題 及 び 改 善 点	スポーツ賞及び奨励金制度そのものを知られていない場合があるため、より多くの市民に申請してもらえるよう周知方法について検討する。							

【施策の体系】5 スポーツ・レクリエーション

【政策】第1項 生涯スポーツの充実

施 策	(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	スポーツ推進課	B	
	スポーツ・レクリエーション事業の推進	スポーツ推進課	A	
	関係団体との連携	スポーツ推進課	A	
	スポーツ・レクリエーションの表彰	スポーツ推進課	B	
学 識 経 験 者 意 見 等				

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	スポーツ指導者等の充実					担当課	自己評価	
						スポーツ推進課	A	
取 組 状 況	スポーツ指導者及びレクリエーション指導者の資質の向上と活動機会の提供を図ることを目的に、指導者養成や資質向上つながる。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	近年少年団や市スポーツ協会加盟団体のチームにおいて指導者及び保護者によるトラブルが増えているためスポーツ現場における指導方法についての講座の開催を検討する。							
令 和 7 年 度 実 績	指導者向けのハラスメント講座を実施							
指 標 及 び 説 明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事						R 8 有事
自 己 評 価 の 主 な 理 由	指導者向けのハラスメント講座を実施することで指導者に対し、指導方法を見直すきっかけづくりを行えたため。							
課 題 及 び 改 善 点	指導者の指導に対する意識や指導力向上どちらかにつながる講座を今後も展開する必要がある。							

主 な 取 組	スポーツ施設の整備						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
取 組 状 況	公共施設マネジメント事業計画に基づく、スポーツ施設の長寿命化及び非構造部材の耐震化を目的とした改修工事の計画的な推進。スポーツ施設を安心かつ快適に提供するための整備。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	施設改修にあたっては、障害を持った方を含めた、だれもが利用しやすい施設を目指した改修を行う。令和7年度に宮寺地区体育館の改修工事を実施予定。							
令 和 7 年 度 実 績	宮寺地区体育館の改修工事を令和7年7月より開始し、12月に施行完了、翌8年1月8日をもって施工業者より引き渡しがされた。宮寺地区体育館をもって公共施設マネジメント事業計画に基づく体育施設の長寿命化が完了し、安心かつ快適に利用できる環境が整備された。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 改修工事実施率					【説明】 年度で予定する改修工事の実施率		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
			平時	平時	平時	平時		
		R2 有事	100	100	100	100		R8 有事
自 己 評 価 の 主 な 理 由	利用者及び施工業者、工事担当課と折衝を重ね、利用者に不都合を与えることなく施設の改修工事を完了させ、利用再開まで進めることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後、体育施設の長期的な運用に係る方針を定め、無料施設の有料化等の施策を検討・実施する必要がある。							

主 な 取 組	地区体育館の活用						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
取 組 状 況	地区住民を中心とした地区体育館の円滑かつ柔軟な利用調整。地区住民の生涯スポーツ活動を促進するための事業実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	施設改修にあたっては、障害を持った方を含めた、だれもが利用しやすい施設を目指した改修を行う。平時の利用者数に戻すため、地区体育館の活用方法の検討が必要。							
令 和 7 年 度 実 績	宮寺地区体育館の改修工事の実施中は利用ができなかったため、1年を通しての5館全ての利用はできていないが、指定管理者による新規の事業を開始するなど、利用の拡大をすすめた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】地区体育館5館の利用者数					【説明】地区体育館5館の利用者数合計		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		160,014	平時	平時	平時	平時		170,000
		R 2 有事	94,679	114,500	101,713	101,615		R 8 有事
			※1 月末実績	※1 月末実績	※1 月末実績	※1 月末実績		100,000
自 己 評 価 の 主 な 理 由	令和4年度と比較すると増加しているが、R1年度時点の利用状況に戻っていないため。 ※令和7年7月～12月にかけて宮寺地区体育館改修工事を実施のため利用者数減少。施設当たりの利用人数令和6年度と比較して大きな増減なし。							
課 題 及 び 改 善 点	宮寺地区体育館の改修工事をもって、地区体育館全5館の改修工事が完了し、平時の利用状況に戻る。平時の利用者数に戻すため、地区体育館の活用方法の検討が必要。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 3

主 な 取 組	学校体育施設の開放						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
取 組 状 況	学校体育施設開放事業（体育館・校庭）の円滑な実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	調整会議への参加忘れにより、翌月の利用予約が取れなかったケースが散見された。							
令 和 7 年 度 実 績	調整会議に代わり、オンライン（LINE を活用）で予約ができるシステムとそれに連動した鍵の管理方法の導入を試験的に開始。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 学校体育施設の利用者数				【説明】 学校体育施設開放対象25校合計の年間利用者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		129,248	平時	平時	平時	平時		140,000
		R 2 有事	108,277	106,210	117,778	122,124		R 8 有事
		63,059	※1 月末実績	※1 月末実績	※1 月末実績	※1 月末実績		70,000
自 己 評 価 の 主 な 理 由	一地区でオンラインによる予約、連動した鍵の管理方法を試行的に導入し、利用者の利便性向上を図ることができた。							
課題及び改善点	残りの地区への速やかなシステムの導入							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

施 策	(2) スポーツ環境の整備			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	スポーツ指導者等の充実	スポーツ推進課	A	A
	スポーツ施設の整備	スポーツ推進課	A	
	地区体育館の活用	スポーツ推進課	B	
	学校体育施設の開放	スポーツ推進課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等				

「令和 7 年度入間市の教育」 抜粋

入間市教育の基本

入間市は、まちづくりのビジョンとして、「香り豊かな緑の文化都市」を掲げ、人・まち・自然が元気なまちづくりを推進しています。

さらに、平成29年度からの「第6次入間市総合計画」においては、10年間の行政運営において「みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま」を目指して、「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「元気な子どもが育つまち」をテーマに、施策の推進を図ることとしています。

そのため、本計画においては、「豊かな人間性の育成」を教育行政の理念に据え、市民一人ひとりがさまざまな学びを通じて充実した生活を送り、さらには暮らしやすい地域づくりに向けて積極的に関わっていけるように、「学びと実践があふれるまち」をテーマに施策展開を図り、市政運営の方向性につなげていきます。

なお、本計画期間における施策の重要な方向性として次の3点を設定して、常にその方向性を確かめ、堅持していくことで、市政と連携した教育行政の推進を図り、「学びと実践があふれるまち」の実現を目指していきます。

(1) 夢の実現に向けた学校教育の充実

「子ども未来室事業※」を継続し、着実に推進するとともに、子どもたち一人ひとりの夢の実現に向けて9年間の義務教育の充実を図るため、小中一貫教育の取組や、ユニバーサルデザインの視点に立った教育※の展開など、学力の向上に重点を置いて取り組みます。そのために居場所のある学級づくりや、学びたい、わかりたい子どもの学力保障と授業改善に取り組み、主体的な学びがあふれる学校づくりを進めます。また、多様な子どもたちが共に学ぶことができるようインクルーシブ教育※システムの構築を推進します。

※ 「子ども未来室事業」とは

すべての子どもを対象にしていますが、特に障害のある子どもの自立支援を目指す取組であり、学力向上や不登校の解消もそのねらいとしています。また、早期支援として、臨床心理士による保育所(園)・幼稚園・こども園への巡回を行い、発達障害のある幼児等を支援するため、小学校就学前の通級指導教室「茶おちゃお」を設置しています。

※ 「ユニバーサルデザインの視点に立った教育」とは

すべての子どもが「わかる」「できる」ことを目指し、教育の環境を整え、指導や支援を工夫することにより、誰一人取り残すことなく、わかりやすく楽しい授業を実践することです。

※ 「インクルーシブ教育」とは

子どもたちの多様性を尊重し、障害のある子どもが精神的にも身体的にも、その能力や可能性を最大限まで伸ばし、自立して社会参加することができるようにすることを目的とし、障害のある子どもも、障害のない子どもも、共に学ぶための取組であり、共生社会の実現を目指すことです。

(2) 地域との連携と生きる力の育成

中学校区ごとに地域交流研修会を設け、地域の特色を生かした開かれた学校づくりを進めることで、地域と連携した教育力の向上を図ります。さらに、小中学校が互いの良さを共有しあい学校力※を高めることで、地域で活躍できる子どもを育てます。地域の祭りやさまざまな行事を、子どもたちが自信をもって実践し、役割を果たすことで、生きる力の一層の向上、社会的自立の促進を図ります。また、学校運

営について、学校・家庭・地域が一体となって目指すべき教育の実現に取り組むため、コミュニティ・スクール※の導入を推進します。

※ 「学校力」とは

個々の教職員の指導力が組織化された力のことです。これを高めるためには、教職員の資質を高めること、優れた教育課程を用意すること、効率的な学校運営を行うことなどの取組が重要となります。

※ 「コミュニティ・スクール」とは

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校・家庭・地域等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

（３）学びと実践による地域づくり

社会教育を総合的かつ効果的に展開していくために、市民と行政の協働による推進体制の充実を図ります。また、博物館、図書館、公民館及び体育施設では、それぞれの施設運営を通して市民ニーズを把握し、協力団体やボランティアスタッフ等と積極的に事業の創造に取り組むことで、市民の学びと実践があふれる地域づくりを進めていきます。さらに、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により、地域全体で子どもたちの成長を支える「地域学校協働活動※」の体制整備について検討していきます。

※ 「地域学校協働活動」とは

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

入間市の教育<グランドデザイン>

10年間の
まちづくり
目 標

みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま

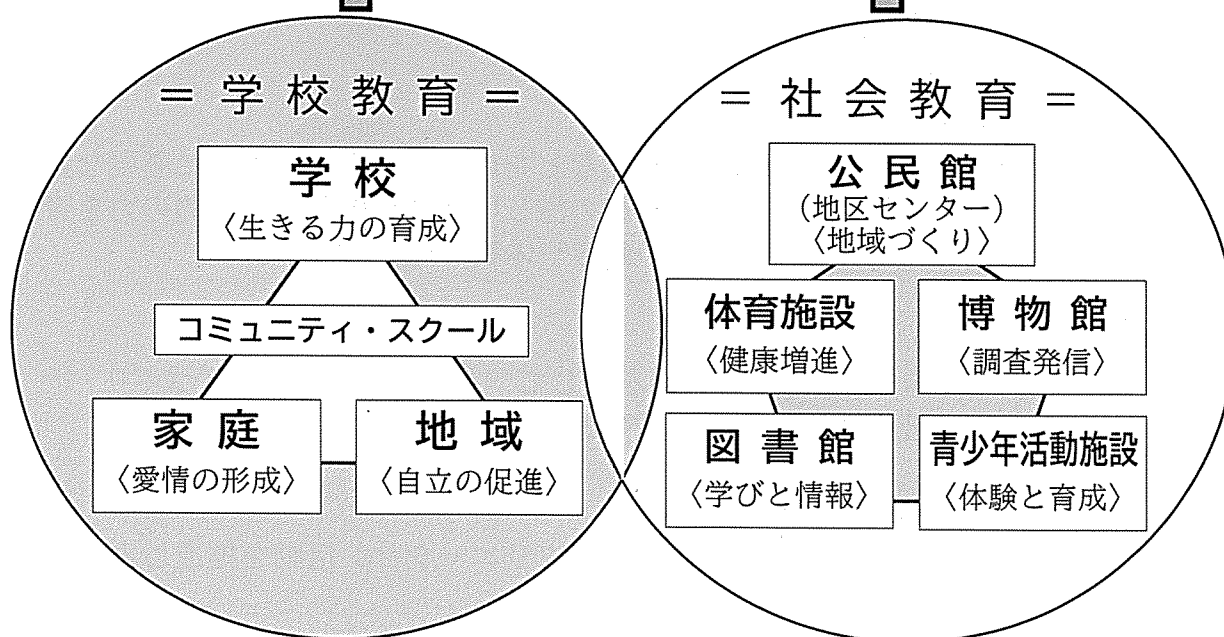
教育行政
基本理念

豊かな人間性の育成

- ☆ ふるさと入間を愛する心
- ☆ 主体的に学び・活用する意欲
- ☆ 思いやりと共生の心
- ☆ 健康増進に励む活力
- ☆ グローバルな視点と感覚

教育行政
テーマ

学びと実践があふれるまち



基本理念及び基本方針

(1)基本理念

「豊かな人間性の育成」

- ふるさと入間を愛する心
- 主体的に学び・活用する意欲
- 思いやりと共生の心
- 健康増進に励む活力
- グローバルな視点と感覚

(2)基本方針

質の高い教育の提供に向けた、きめ細やかな指導の充実や一人ひとりの状況に応じた教育の推進を図り、すべての市民がこれからの厳しい時代を乗り越えられるよう、市民が主体的に学び多様な人々との協働を通じ、課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、社会の持続的な発展を支え合いながら、社会の様々な場面で活躍できるまちづくりを目指すことを本市教育施策の基本方針とします。

(3)施策体系

①人権教育

心豊かな社会形成の基本となる人権の尊重をはじめ、平和の尊さを認識し、大切にしていくための総合的・体系的な教育活動、人権教育に係る学習機会の充実に向けた取組を推進します。

②生涯学習

生涯学習の推進のため、学習環境を整備するとともに、市民の生涯にわたる学習活動を支援し、学んだ成果を生かすことのできるまちづくりへとつなげていきます。

③幼児・学校教育

確かな学力、豊かな心、健やかな体などをはじめ、子どもたちに必要な資質・能力を身につけるとともに、変化の激しい社会を生き抜くための力を育むことを目指し、幼児・学校教育の内容や体制の充実を図ります。

④社会教育

博物館・図書館・公民館等の活用を通じて、人づくり・つながりづくり・地域づくりによる社会教育の振興を図ります。

⑤スポーツ・レクリエーション

健康な生活の基礎となるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

施策の体系

1 人権教育

政 策	施 策	主な取り組み
第1項 人権の尊重と権利の擁護	(1)人権施策の推進	①人権の啓発
		②人権教育の推進
	(2)平和施策の推進	①平和意識の高揚

2 生涯学習

政 策	施 策	主な取り組み
第1項 生涯学習の推進	(1)学習環境の充実	①学習情報の提供
		②学習機会の充実
	(2)学習成果の活用	①学習成果活用の奨励
		②市民との協働

3 幼児・学校教育

政 策	施 策	主な取り組み
第1項 学校教育の充実	(1)学校教育体制及び学習環境の充実	①学校経営の充実
		②I C T機器を活用した支援
		③生徒指導・教育相談の充実
		④子ども未来室事業の推進
		⑤教材・図書等の充実
		⑥子育て家庭への経済的支援
	(2)学校教育内容の充実	①学力向上の充実
		②豊かな心を育む教育の推進
		③健康・安全教育及び食育の推進
		④体力向上の充実
第2項 幼児教育の充実	(1)幼児教育の環境整備	①子ども未来室事業の推進
		②幼児の通級指導教室を通じた支援
		③保護者への情報提供と支援
		④保幼小中連携・接続研修会の実施
		⑤幼稚園就園世帯への支援
第3項 学校施設の整備	(1)学校施設の充実・最適化	①校舎・屋内運動場の整備
	(2)学校給食施設・設備の充実	①学校給食センター施設・設備の整備
		②自校給食施設・設備の整備

4 社会教育

政 策	施 策	主な取り組み
第1項 社会教育の充実	(1)社会教育事業の充実	①学習の機会提供の充実
		②資料の収集・提供
		③社会教育に関する情報の提供
	(2)家庭・地域の教育力の向上	①乳幼児の親を支援する事業の充実
		②小中学生の親を支援する事業の充実
		③学校・家庭・地域の連携の促進
		④団体支援の充実
	(3)青少年教育の充実	①体験活動の機会提供
		②居場所づくりの充実
		③青少年関係団体の支援の充実
		④青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成
	(4)文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援	①指定文化財等の保護
		②文化財保護啓発事業の実施
		③近代化遺産の保存・活用
		④埋蔵文化財の保護
		⑤伝統文化活動団体の支援の充実
第2項 社会教育施設等の整備	(1)施設の充実・最適化	①博物館施設の充実
		②図書館施設の充実
		③公民館施設の充実
		④青少年活動センター施設の充実

5 スポーツ・レクリエーション

政 策	施 策	主な取り組み
第1項 生涯スポーツの充実	(1)スポーツ・レクリエーション活動の推進	①スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実
		②スポーツ・レクリエーション事業の推進
		③関係団体との連携
		④スポーツ・レクリエーションの表彰
	(2)スポーツ環境の整備	①スポーツ指導者等の充実
		②スポーツ施設の整備
		③地区体育館の活用
		④学校体育施設の開放

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

令和8年6月

発行 入間市教育委員会

(教育部教育総務課)

〒358-8511 入間市豊岡一丁目16番1号

Tel 04-2964-1111 (代表)

Fax 04-2964-4841

e-mail ir811000@city.iruma.lg.jp

入間市立学校給食センター設置及び管理条例の一部改正について

1 改正の趣旨

入間市立学校給食センターの新規開設に伴う移転により位置の変更を行うとともに、小中学校における給食の実施及び適正な管理運営に関する事項を明確にしたいので条例の改正を行うものです。

2 改正の内容

別紙「入間市立学校給食センター設置及び管理条例の一部改正」のとおり改正を行います。

3 施行日

公布の日及び令和８年９月１日

4 今後の予定

庁議協議

令和８年 ４月２８日（予定）

教育委員会議案

令和８年 ５月２７日

入間市立学校給食センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

入間市立学校給食センター設置及び管理条例（昭和55年条例第42号）の一部を次のように改正する。

第2条中「大字新久129番地」を「大字新久140番地1」に改める。

第5条中「のうち、自校に給食調理場を有しない中学校」を削り、「すべて」を「全て」に改める。

第8条第1項中「基本的事項」の次に「及び市立の小・中学校の学校給食に関する事項」を加える。

附 則

この条例は、令和8年9月1日から施行する。ただし、第5条及び第8条第1項の改正規定は、公布の日から施行する。

入間市立学校給食センター設置及び管理条例新旧対照表

改正案	現 行
(名称及び位置) 第2条 給食センターの名称及び位置は、次のとおりとする。 入間市立学校給食センター 入間市大字新久140番地1 (給食の対象) 第5条 給食センターは、市立の中学校_____に在学する<u>全て</u>の生徒及び必要な職員に対して、給食を実施する。 (運営委員会) 第8条 給食センターの運営に関する基本的事項及び市立の小・中学校の学校給食に関する事項を審議するため、入間市立学校給食センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。 2～4 略	(名称及び位置) 第2条 給食センターの名称及び位置は、次のとおりとする。 入間市立学校給食センター 入間市大字新久129番地 (給食の対象) 第5条 給食センターは、市立の中学校のうち、<u>自校に給食調理場を有しない中学校に在学するすべての</u>生徒及び必要な職員に対して、給食を実施する。 (運営委員会) 第8条 給食センターの運営に関する基本的事項_____を審議するため、入間市立学校給食センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。 2～4 略

